

3 防水改修工事	1 降雨等に対する養生方法(とい共)	[3. 1. 3] ※ 改修仕様 3. 1. 3 (e) (1) ~ (3) による ()	4 外壁改修工事	1 ひび割れ部改修工法 ・ コンクリート打直し仕上げ ・ モルタル張り仕上げ ・ タイル張り仕上げ	※ 樹根注入工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 4] 注入工法の種類 注入間隔 (mm) 注入量 (cc/m) ※ 自動式高圧エポキシ樹脂注入工法 ※ 200~300 ()	4 外壁改修工事	7 仕上塗材仕上げ	・ 仕上塗材における防火材料の指定 [4. 2. 2] 建築基準法に基づき基材同等の認定を受けたものとする ・ 湧け仕上げ塗材 [4. 1. 5] [4. 2. 2] [表 4. 2. 4] 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 吹付け ・ 外装薄塗材F ・ 着色身材砂壁状 ・ () ・ () ・ () ・ 厚付け仕上げ塗材 [4. 1. 5] [4. 2. 2] [表 4. 2. 4] 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ () ・ () ・ () ・ 覆層仕上げ塗材 [4. 1. 5] [4. 2. 2] [表 4. 2. 4~5] 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ 覆層塗材E ・ 砂状 ローラー 上塗材 ・ 可とう形覆層塗材E ・ 凸凹処理 吹付け ※ 水系アクリルつやあり ・ 覆層塗材E ・ 凸凹模様 () ・ () ・ 防水型覆層塗材E ・ 砂状 ローラー 上塗材 ・ 防水型覆層塗材E ・ 凸凹処理 吹付け ※ 溶剤系ポリウレタンつやあり ・ 防水型覆層塗材E ・ 凸凹模様 () ・ () ・ 可とう形覆層仕上げ塗材 [4. 1. 5] [4. 2. 2] [表 4. 2. 4] 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 ・ () ・ () ・ () ・ マスチック塗材塗り [4. 2. 2] [4. 6. 6] ・ A種 ・ B種	5 建具改修工事	10 建具用金物	・ マスターキー [5. 7. 2~4] [表 5. 7. 1~2] ※ 製作する (※ 新規 ・ 既存に合わせる) ・ 製作しない ・ 鍵類 網製扉部品とし、監督員の承認による ※ その他の金物 ※ 図示による	5 建具改修工事	11 自動ドア閉閉装置	閉閉装置の性能値 ※ 改修仕様表 5. 8. 2~3 [表 5. 8. 1~2] スライディングドア用 ※ 改修仕様表 5. 8. 1 による () スライディングドア用 ※ 改修仕様表 5. 8. 2 による () 駆動装置 ・ 電気式 ・ 空気圧式 ・ 油圧式 () 電源 ※ 単相 100V (過電流保護装置付) () センサーの種類 ・ 光線 (反射) スイッチ ・ タッチスイッチ () 補助センサー ※ 光電スイッチ1組 () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次側配線は本工事に含む	5 建具改修工事	12 自閉式上吊り引戸装置	性能 ※ 改修仕様表 5. 9. 1 による ・ 図示による 9. 2~3 [表 5. 9. 1]	5 建具改修工事	13 重量シャッター	種類 シャッター ケース 耐風圧 閉閉形式 備考 一般シャッター ・ 設ける ・ 5.0 ※ 上部電動式 ※ 危険防止機構 ・ 設けない ・ 8.0 ※ 8 ※ (手動併用) ※ 障害物感知装置 ・ 防火シャッター (外部用) ※ 設ける ・ 1.20 ・ 上部手動式 (自動閉鎖型) ・ 防火シャッター (内部用) () () ※ シャッターの ・ 防振シャッター () () ※ シャッターの 二段降下方式 電動式の場合の電源 ※ 三相 200V 0.75kW以下 (過電流保護装置付) () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次側配線は本工事に含む スラット及びシャッターケース用鋼板の種類 ・ JIS G 3302 ・ JIS G 3312 だし、めっきの付着量は212又はF12とする	5 建具改修工事	14 軽量シャッター	[5. 11. 2~4] 閉閉形式 シャッター ケース 耐風圧 スラット ガイドレール ※ 手動式 ・ 設ける ・ 5.0 ※ インター ・ JIS G 3312 ・ 形状 材質 (めっきの量) ・ 断面の材質 ※ 上部電動式 ・ 設けない ・ 6.5 ・ ロッキング形 (204又はF06) (SUS304) ・ (手動併用) ・ 8.0 ・ オーバー ・ JIS G 3322 ・ 溶融亜鉛 ・ () ・ () ・ ラッピング形 (AZ90) ・ めっき鋼板 電動式の場合の電源 ※ 単相 100V (過電流保護装置付) () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、閉閉機構以降の二次側配線は本工事に含む 電動式の場合は、危険防止機構及び障害物感知装置 (自動閉鎖型) を設けるものとする	5 建具改修工事	15 オーバーヘッドドア	[5. 12. 2~4] セクション材料 耐風圧 閉閉形式 収納形式 ガイドレールの材質 ※ スチールタイプ ・ 5.0 ※ バランス式 ・ スタンダード型 ※ 3F以上鋼板 ・ アルミニウムタイプ ・ 5 ・ チューン式 ・ ローヘッド形 (SUS304) ・ ファイバーグラスタイプ ・ 1.00 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ 溶融亜鉛 ・ () ・ () ・ 1.25 ・ パーチカル形 ・ めっき鋼板 電動式の場合は、障害物感知装置を設けるものとする	5 建具改修工事	16 ガラス	・ フロート板ガラス 厚さは、図示による [5. 13. 2] ・ 複層ガラス 厚さ及び品種は、図示による [5. 13. 2] ・ 網入板ガラス 厚さ及び品種は、図示による [5. 13. 2] ・ 網入板ガラス 厚さ及び品種は、図示による [5. 13. 2] ・ 合わせガラス 材料、厚さの組合せ、合計厚さ及び特性による種類は、図示に記す [5. 13. 2] ・ 強化ガラス 材料による名称、呼び厚及び特性による種類は、図示による [5. 13. 2] ・ 低強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類は、図示による [5. 13. 2] ・ 熱線吸収ガラス [5. 13. 2] 種類 厚さ (mm) 性能 色調 ※ 熱線吸収フロート板ガラス ・ () ・ 1種 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ () ・ 2種 ・ グリーン ・ () ・ 複層ガラス [5. 13. 2] 種類 断熱性、日射熱減へい性 ・ 単層複層ガラス ・ 1種、U1 ・ 2種、U2 ・ 3種、U3-1 ・ 3種、U3-2 ・ 日射熱減へい複層ガラス ・ 4種、E4 ・ 5種、E5 ・ 熱線反射ガラス [5. 13. 2~4] 種類 厚さ (mm) 日射熱減へい性、耐火性 反射 色調 ・ フロート板ガラス ・ 6 ・ 1種、A種 ※ 内面 ・ ブルー ・ ブロンズ ※ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 8 ・ 2種、A種 ・ 外面 ・ グレー ・ シルバー ・ 平面強化ガラス ・ 10 ・ 2種、B種 () ・ () ・ 12 ・ 3種、B種 () 検査調整 ・ 行う ・ 行わない ガラス測定の寸法等 ・ 図示による ・ 改修仕様表 5. 13. 1 [表 5. 13. 3]	5 建具改修工事	17 ガラス留め釘	建具の種類 材種 アルミニウム製 ※ シーリング材 (SR-1) ・ ガasket (グレイジングチャンネル形) 鋼製、ステンレス製 ※ シーリング材 (SR-1)	5 建具改修工事	18 ガラスブロック積み	JIS A 5212 による [5. 13. 5] 表面形状 寸法 厚さ 色調 防火認定 備考 ・ クリア ・ 乳白 ・ なし 表中に記載のない ・ カラー () ・ 防火設備 事項は、図示による ・ 熱線反射
	2 既存防水の処理	[3. 2. 3~4] [3. 2. 6] 既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲・図示による) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲・図示による) ・ 行わない 露出防水層表面の仕上げ塗料除去 ・ 行う (M4AS ・ M4AS I ・ M4C ・ M4D) (L4) ・ 行わない		2 欠損部改修工法 ・ コンクリート打直し仕上げ ・ モルタル張り仕上げ ・ タイル張り仕上げ	※ 充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7] 材 料 備考 ※ エポキシ樹脂モルタル 性能は建築材料等品質性能表による ・ ポリマーセメントモルタル 性能は建築材料等品質性能表による		1 改修工法	・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 ・ 図示による [5. 1. 3] 新規に建具を設ける場合の、壁部分の開口の明け方及び範囲の補修工法並びにその範囲は、図示による		2 防火戸	・ 適用する (図示による) ・ 適用しない [5. 1. 4]		3 アルミニウム製建具	[5. 2. 2~4] [表 5. 2. 1~2] 種 別 外部に面する建具 内部建具 ・ 普通サッシ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音サッシ 遮音性の等級 () ・ 断熱サッシ 断熱性の等級 () ・ () ・ () 表面処理 外部に面する建具 ・ A-1種 ・ A-2種 ※ 5-1種 ・ B-2種 内部建具 ※ C-1種 ・ C-2種 結露水の処理方法 ※ 図示による ()		3 鋼製建具	[5. 3. 2~4] [表 5. 3. 1~3] 種 別 外部に面する建具 内部建具 ・ 普通サッシ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音サッシ 遮音性の等級 () ・ 断熱サッシ 断熱性の等級 () ・ () ・ () ガラス ・ 単層ガラス ※ 複層ガラス ・ 三重ガラス () 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色		4 網戸等	[5. 2. 3] 種 別 材質 網径 備考 ・ 防虫網 ・ 合成樹脂製 ※ 0. 25mm以上 ※ 16~18メッシュ ・ 防鳥網 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 () ・ ステンレス (SUS316) 製 () ・ 防鳥網 ※ ステンレス (SUS304) 製 ※ 1. 5mm ※ 寸法は、15mm ※ 外面網まりの可動式 ()		4 鋼製建具	[5. 4. 2~4] [表 5. 4. 1~2] 種 別 防風気密型 ドアノットの性能 外部に面する建具の耐風圧性 網板の厚さ 鋼板の種類及びめっきの付着量 ・ 標準型建具 ・ A-5. 4. 1を適用 ・ S-4 ※ JIS G 3302 ・ () ・ () ・ S-5 ※ Z12又はF12 ・ 標準型建具 ・ A-5. 4. 1を適用 ・ S-4 ・ A-5. 4. 2を適用 ※ JIS G 3317 以外の建具 ・ () ・ S-5 ・ 図示による ※ Y08		5 鋼製軽量建具	[5. 5. 2~4] [表 5. 5. 1] 種 別 防風気密型 ドアノットの性能 外部に面する建具の耐風圧性 網板の厚さ 鋼板の種類及びめっきの付着量 ・ 標準型建具 ・ A-3 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ () ・ () ※ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ 標準型建具 ・ A-3 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ () ・ () ※ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 以上の建具 ・ () ・ () 召合せ、縦小口包み板等の材質は、建具製作所の仕様による		8 ステンレス建具	[5. 6. 3] 鋼板 (屋外) ※ SUS304 ・ SUS430J/L ・ SUS443J1 [5. 6. 3] (屋内) ・ SUS304 ・ SUS430J/L ・ SUS443J1 ・ SUS430 表面の仕上げ ※ 丸仕上げ ・ 鋼面仕上げ [5. 6. 4] 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) [5. 6. 5]		9 木製建具	建具材の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 6. 7. 2) (表 16. 7. 1) ・ フラッシュ戸 (16. 7. 2~4) (表 16. 7. 5~7) 表面材の合板の種類 規格等 備考 ※ 普通合板 表面の材質 規格等 備考 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ()) 不透明塗料塗り (※ しな程度 ()) 表面の品質 接合の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 天然木 樹種名 () 化粧合板 接合の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 特殊加工 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 化粧合板 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接合の程度 (・ 1種 ・ 2種) 表面板の厚さ ※ 仕様表 16. 7. 6 による ()			
	3 既存防水層の地下補修	[3. 2. 6] 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による ()		3 浮き部改修工法 ・ モルタル塗り仕上げ ・ タイル張り仕上げ	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 4~5] 充填材の種類 備考 ・ シーリング材 ※ 1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタル (性能は建築材料等品質性能表による) の充填 ポリウレタン系 シーリング材 ※ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 性能は建築材料等品質性能表による		2 脱気装置	[3. 3. 3] [3. 4. 3] [3. 5. 3] ※ 主材料製造所の指定する製品 ()		4 モルタル塗替え	[4. 2. 2] [4. 4. 9] モルタル ※ 改修仕様 4. 2. 2 (a) による () 微水調整材 (性能は建築材料等品質性能表による) 既製目地材 ・ 使用する ・ 使用しない		5 タイル張り	タイルの種類 [4. 2. 2] 施工箇所 形状 寸法 吸水率による区分 1種 2種 3種 4種 5種 6種 7種 8種 9種 10種 11種 12種 13種 14種 15種 16種 17種 18種 19種 20種 21種 22種 23種 24種 25種 26種 27種 28種 29種 30種 31種 32種 33種 34種 35種 36種 37種 38種 39種 40種 41種 42種 43種 44種 45種 46種 47種 48種 49種 50種 51種 52種 53種 54種 55種 56種 57種 58種 59種 60種 61種 62種 63種 64種 65種 66種 67種 68種 69種 70種 71種 72種 73種 74種 75種 76種 77種 78種 79種 80種 81種 82種 83種 84種 85種 86種 87種 88種 89種 90種 91種 92種 93種 94種 95種 96種 97種 98種 99種 100種 101種 102種 103種 104種 105種 106種 107種 108種 109種 110種 111種 112種 113種 114種 115種 116種 117種 118種 119種 120種 121種 122種 123種 124種 125種 126種 127種 128種 129種 130種 131種 132種 133種 134種 135種 136種 137種 138種 139種 140種 141種 142種 143種 144種 145種 146種 147種 148種 149種 150種 151種 152種 153種 154種 155種 156種 157種 158種 159種 160種 161種 162種 163種 164種 165種 166種 167種 168種 169種 170種 171種 172種 173種 174種 175種 176種 177種 178種 179種 180種 181種 182種 183種 184種 185種 186種 187種 188種 189種 190種 191種 192種 193種 194種 195種 196種 197種 198種 199種 200種 201種 202種 203種 204種 205種 206種 207種 208種 209種 210種 211種 212種 213種 214種 215種 216種 217種 218種 219種 220種 221種 222種 223種 224種 225種 226種 227種 228種 229種 230種 231種 232種 233種 234種 235種 236種 237種 238種 239種 240種 241種 242種 243種 244種 245種 246種 247種 248種 249種 250種 251種 252種 253種 254種 255種 256種 257種 258種 259種 260種 261種 262種 263種 264種 265種 266種 267種 268種 269種 270種 271種 272種 273種 274種 275種 276種 277種 278種 279種 280種 281種 282種 283種 284種 285種 286種 287種 288種 289種 290種 291種 292種 293種 294種 295種 296種 297種 298種 299種 300種 301種 302種 303種 304種 305種 306種 307種 308種 309種 310種 311種 312種 313種 314種 315種 316種 317種 318種 319種 320種 321種 322種 323種 324種 325種 326種 327種 328種 329種 330種 331種 332種 333種 334種 335種 336種 337種 338種 339種 340種 341種 342種 343種 344種 345種 346種 347種 348種 349種 350種 351種 352種 353種 354種 355種 356種 357種 358種 359種 360種 361種 362種 363種 364種 365種 366種 367種 368種 369種 370種 371種 372種 373種 374種 375種 376種 377種 378種 379種 380種 381種 382種 383種 384種 385種 386種 387種 388種 389種 390種 391種 392種 393種 394種 395種 396種 397種 398種 399種 400種 401種 402種 403種 404種 405種 406種 407種 408種 409種 410種 411種 412種 413種 414種 415種 416種 417種 418種 419種 420種 421種 422種 423種 424種 425種 426種 427種 428種 429種 430種 431種 432種 433種 434種 435種 436種 437種 438種 439種 440種 441種 442種 443種 444種 445種 446種 447種 448種 449種 450種 451種 452種 453種 454種 455種 456種 457種 458種 459種 460種 461種 462種 463種 464種 465種 466種 467種 468種 469種 470種 471種 472種 473種 474種 475種 476種 477種 478種 479種 480種 481種 482種 483種 484種 485種 486種 487種 488種 489種 490種 491種 492種 493種 494種 495種 496種 497種 498種 499種 500種 501種 502種 503種 504種 505種 506種 507種 508種 509種 510種 511種 512種 513種 514種 515種 516種 517種 518種 519種 520種 521種 522種 523種 524種 525種 526種 527種 528種 529種 530種 531種 532種 533種 534種 535種 536種 537種 538種 539種 540種 541種 542種 543種 544種 545種 546種 547種 548種 549種 550種 551種 552種 553種 554種 555種 556種 557種 558種 559種 560種 561種 562種 563種 564種 565種 566種 567種 568種 569種 570種 571種 572種 573種 574種 575種 576種 577種 578種 579種 580種 581種 582種 583種 584種 585種 586種 587種 588種 589種 590種 591種 592種 593種 594種 595種 596種 597種 598種 599種 600種 601種 602種 603種 604種 605種 606種 607種 608種 609種 610種 611種 612種 613種 614種 615種 616種 617種 618種 619種 620種 621種 622種 623種 624種 625種 626種 627種 628種 629種 630種 631種 632種 633種 634種 635種 636種 637種 638種 639種 640種 641種 642種 643種 644種 645種 646種 647種 648種 649種 650種 651種 652種 653種 654種 655種 656種 657種 658種 659種 660種 661種 662種 663種 664種 665種 666種 667種 668種 669種 670種 671種 672種 673種 674種 675種 676種 677種 678種 679種 680種 681種 682種 683種 684種 685種 686種 687種 688種 689種 690種 691種 692種 693種 694種 695種 696種 697種 698種 699種 700種 701種 702種 703種 704種 705種 706種 707種 708種 709種 710種 711種 712種 713種 714種 715種 716種 717種 718種 719種 720種 721種 722種 723種 724種 725種 726種 727種 728種 729種 730種 731種 732種 733種 734種 735種 736種 737種 738種 739種 740種 741種 742種 743種 744種 745種 746種 747種 748種 749種 750種 751種 752種 753種 754種 755種 756種 757種 758種 759種 760種 761種 762種 763種 764種 765種 766種 767種 768種 769種 770種 771種 772種 773種 774種 775種 776種 777種 778種 779種 780種 781種 782種 783種 784種 785種 786種 787種 788種 789種 790種 791種 792種 793種 794種 795種 796種 797種 798種 799種 800種 801種 802種 803種 804種 805種 806種 807種 808種 809種 810種 811種 812種 813種 814種 815種 816種 817種 818種 819種 820種 821種 822種 823種 824種 825種 826種 827種 828種 829種 830種 831種 832種 833種 834種 835種 836種 837種 838種 839種 840種 841種 842種 843種 844種 845種 846種 847種 848種 849種 850種 851種 852種 853種 854種 855種 856種 857種 858種 859種 860種 861種 862種 863種 864種 865種 866種 867種 868種 869種 870種 871種 872種 873種 874種 875種 876種 877種 878種 879種 880種 881種 882種 883種 884種 885種 886種 887種 888種 889種 890種 891種 892種 893種 894種 895種 896種 897種 898種 899種 900種 901種 902種 903種 904種 905種 906種 907種 908種 909種 910種 911種 912種 913種 914種 915種 916種 917種 918種 919種 920種 921種 922種 923種 924種 925種 926種 927種 928種 929種 930種 931種 932種 933種 934種 935種 936種 937種 938種 939種 940種 941種 942種 943種 944種 945種 946種 947種 948種 949種 950種 951種 952種 953種 954種 955種 956種 957種 958種 959種 960種 961種 962種 963種 964種 965種 966種 967種 968種 969種 970種 971種 972種 973種 974種 975種 976種 977種 978種 979種 980種 981種 982種 983種 984種 985種 986種 987種 988種 989種 990種 991種 992種 993種 994種 995種 996種 997種 998種 999種 1000種																					

熊本県建築改修工事特記仕様書

建築士事務所名	一級 建築士事務所 熊本県 知事登録 358 号 株式会社 SDA 建築設計事務所 代表取締役 吉田 斉	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事
設計者氏名	一級 建築士 大臣 登録第 150668 号 管理建築士 鎌田 和徳 印	図面名称	建築改修工事特記仕様書 (その2) 図面番号 A-03

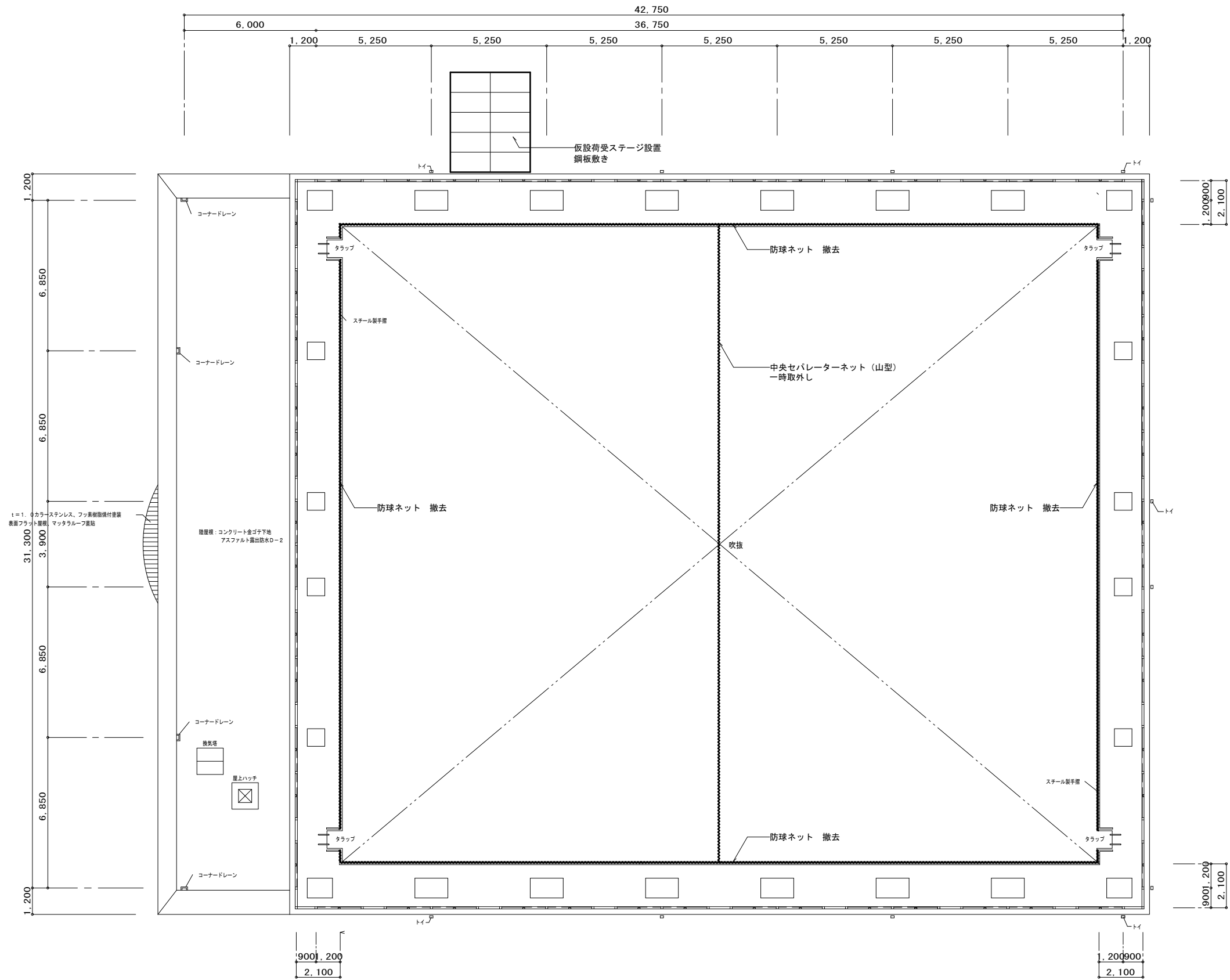
6 内装改修工事	33 カーテン	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [2.3.1] [5.1.6] 新設する (2.0.2.14) (表2.0.2.1) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類</th> </tr> <tr> <td>・ シングル ・ ダブル</td> <td>※ 手引き ※ ひも引き ・ 電動</td> <td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまみひだ ・ プレーンひだ、片ひだ</td> <td>きれ地の種類 品質、特殊加工</td> </tr> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類	・ シングル ・ ダブル	※ 手引き ※ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまみひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	きれ地の種類 品質、特殊加工						
	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類												
	・ シングル ・ ダブル	※ 手引き ※ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまみひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	きれ地の種類 品質、特殊加工												
	34 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [5.1.6] 新設する (2.0.2.14) 材質 ※ アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成形品 (アルマイト仕上) ・ ステンレス製 形状 ・ 角形														
	35 カーテンボックス	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [5.1.6] 新設する 材質 ・ アルミニウム製既製品 (・ シルバー ・ 着色) ・ 鋼製 ・ 木製														
	36 コーナービート (壁ボード出隅保護金物)	材質 ※ アルミニウム押出成形品 (・) ※ シルバー ・ 黒付 ・ コーナー保護金物付きジョイントテープ														
	37 天井見切縁	材質 ・ アルミニウム押出成形品 ※ 塩化ビニル製 施工箇所 ※ 図示による														
	38 点検口	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450角 ・ 600角</td> <td>・ 一般形</td> <td>・ 鍵付き</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>※ アルミニウム製目地 ・ ステンレス鋼製目地</td> <td>※ 450角 ・ 600角</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 性能は建築材料品質性能表による	形式	材質	寸法	形式	備考	天井	※ アルミニウム製	※ 450角 ・ 600角	・ 一般形	・ 鍵付き	床	※ アルミニウム製目地 ・ ステンレス鋼製目地	※ 450角 ・ 600角	
形式	材質	寸法	形式	備考												
天井	※ アルミニウム製	※ 450角 ・ 600角	・ 一般形	・ 鍵付き												
床	※ アルミニウム製目地 ・ ステンレス鋼製目地	※ 450角 ・ 600角														

7 塗装改修工事	○ 1 材料	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ () [7.1.3] 防火材料 ※ 内装の壁、天井の塗装仕上げ材は防火材料とし、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)																																																									
	○ 2 下地調整	既存塗膜の除去範囲 (塗替えて除膜の場合) [7.2.1] [表7.2.1~7] ※ 塗替え面積30%とする ・ 図示による 下地調整 [7.2.2~7] [表7.2.1~7] <table border="1"> <tr> <th>下 地 面</th> <th>種 別</th> <th>ひび割れ部の修繕</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う (面の処理)</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (F以外)</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う (面の処理)</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う (面の処理)</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	下 地 面	種 別	ひび割れ部の修繕	木部	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種		鉄鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種		垂れめっき鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種		垂れめっき鋼面 (鋼製建具)	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		モルタル面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 行う (面の処理)	プラスター面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 行わない	コンクリート面 (F以外)	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 行う (面の処理)	ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行わない	コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う (面の処理)	押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行わない	せっこうボード面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種		その他ボード面																				
	下 地 面	種 別	ひび割れ部の修繕																																																								
	木部	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																																																									
鉄鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																																																										
垂れめっき鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																																																										
垂れめっき鋼面 (鋼製建具)	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																										
モルタル面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 行う (面の処理)																																																									
プラスター面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 行わない																																																									
コンクリート面 (F以外)	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ 行う (面の処理)																																																									
ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行わない																																																									
コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う (面の処理)																																																									
押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行わない																																																									
せっこうボード面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種																																																										
その他ボード面																																																											
3 錆止め塗料塗り	[7.3.2~3] [表7.3.1~4] <table border="1"> <tr> <th>塗 装 面</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>EP-G以外</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>新設鉄鋼面見え隠れ</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>新設鉄鋼面見え隠れ</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>新設鉄鋼面見え隠れ</td> <td>・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>新設鉄鋼面見え隠れ</td> <td>・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>新設鉄鋼面見え隠れ</td> <td>・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂れめっき鋼面</td> <td>EP-G以外</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具等</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面</td> <td>EP-G</td> <td>・ C種 ※ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具等</td> <td>・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table>	塗 装 面	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	塗替え	・ A種 ・ B種 ※ C種	EP-G以外	・ A種 ※ B種 ・ C種	新設鉄鋼面見え隠れ	・ A種 ※ B種 ・ C種	新設鉄鋼面見え隠れ	・ A種 ※ B種 ・ C種	EP-G	塗替え	・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種	新設鉄鋼面見え隠れ	・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種	新設鉄鋼面見え隠れ	・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種	新設鉄鋼面見え隠れ	・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種	垂れめっき鋼面	EP-G以外	・ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種	鋼製建具等	・ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種	コンクリート面	EP-G	・ C種 ※ A種 ・ B種 ※ C種	鋼製建具等	・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																											
塗 装 面	塗料の種類	工程の種類																																																									
鉄鋼面	塗替え	・ A種 ・ B種 ※ C種																																																									
	EP-G以外	・ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
	新設鉄鋼面見え隠れ	・ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
	新設鉄鋼面見え隠れ	・ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
EP-G	塗替え	・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種																																																									
	新設鉄鋼面見え隠れ	・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
	新設鉄鋼面見え隠れ	・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
	新設鉄鋼面見え隠れ	・ B種 ※ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
垂れめっき鋼面	EP-G以外	・ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種																																																									
	鋼製建具等	・ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 ※ C種																																																									
コンクリート面	EP-G	・ C種 ※ A種 ・ B種 ※ C種																																																									
	鋼製建具等	・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																																																									
○ 4 塗装	[7.4~15] [表7.4~15.1~4] <table border="1"> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="15">○ 合成樹脂 鋼合ペイント 塗り (SOP)</td> <td>塗装面</td> <td>・ 塗替え</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋外)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ クラヤウカ塗り (CL)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ フタル酸樹脂エマルジョン (FE)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂高非水分散型 塗料塗り (NAD)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">耐水性 塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋外)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面等</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョン模様 塗料塗り (EP-T)</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ フランカーエマルジョン (UC)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ ラッカーエマルジョン (LE)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ オイルステイン塗り (OS)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種</td> </tr> </table>	塗装の種類	工程の種類	○ 合成樹脂 鋼合ペイント 塗り (SOP)	塗装面	・ 塗替え	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種	木部 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	垂れめっき鋼面 (鋼製建具)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種 ・ C種	垂れめっき鋼面 (鋼製建具以外)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種 ・ C種	・ クラヤウカ塗り (CL)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	・ フタル酸樹脂エマルジョン (FE)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	・ アクリル樹脂高非水分散型 塗料塗り (NAD)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	耐水性 塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種	垂れめっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種	コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種	押出成形セメント板面	・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	垂れめっき鋼面 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	モルタル面	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	プラスター面	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	コンクリート面	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	せっこうボード面	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	その他ボード面等	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	合成樹脂エマルジョン模様 塗料塗り (EP-T)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種	・ フランカーエマルジョン (UC)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	・ ラッカーエマルジョン (LE)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	・ オイルステイン塗り (OS)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種	・ 木材保護塗料塗り (WP)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種
塗装の種類	工程の種類																																																										
○ 合成樹脂 鋼合ペイント 塗り (SOP)	塗装面	・ 塗替え																																																									
	木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																																																									
	木部 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																																																									
	鉄鋼面	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
	垂れめっき鋼面 (鋼製建具)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
	垂れめっき鋼面 (鋼製建具以外)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種 ・ C種																																																									
	・ クラヤウカ塗り (CL)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																									
	・ フタル酸樹脂エマルジョン (FE)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																									
	・ アクリル樹脂高非水分散型 塗料塗り (NAD)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																									
	耐水性 塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																																																								
		垂れめっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																																																								
		コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種																																																								
		押出成形セメント板面	・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																								
		木部 (屋外)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ・ B種 ・ C種																																																								
		鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																								
垂れめっき鋼面 (屋内)		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
モルタル面		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
プラスター面		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
コンクリート面		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
せっこうボード面		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
その他ボード面等		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP)		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
合成樹脂エマルジョン模様 塗料塗り (EP-T)		・ A種 ※ B種 ・ C種 ※ A種 ※ B種																																																									
・ フランカーエマルジョン (UC)		・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																									
・ ラッカーエマルジョン (LE)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																										
・ オイルステイン塗り (OS)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																										
・ 木材保護塗料塗り (WP)	・ A種 ※ B種 ※ A種 ※ B種																																																										

8 の 1 耐震改修工事 共通事項	1 (一般事項) 適用範囲	工事内容 [8.1.1] ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (連続縦補強工法) ・ 耐震スリット新設工法 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事 工事種別 [8.1.1][8.1.2] ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の修繕) ・ 撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し) 撤去 (下地の一部又は全てを含む)、構造体のはつり ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続縦補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事												
	2 (施工調査) 施工計画調査	[1.2.2] [1.2.4] [1.3.1] [1.5.1] 施工計画調査 [1.2.2] [1.2.4] [1.3.1] [1.5.1] <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>記録事項等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項 目	内 容	記録事項等									
	項 目	内 容	記録事項等											
3 施工数量調査	[1.2.2] [1.2.4] [1.3.1] [1.5.2] 施工数量調査 [1.2.2] [1.2.4] [1.3.1] [1.5.2] <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>記録事項等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項 目	内 容	記録事項等										
項 目	内 容	記録事項等												
8 の 2 耐震改修工事 撤去工事	1 (既存部分の撤去等) 既存仕上げ等の撤去	既存仕上げ等の撤去 [8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] 撤去の範囲 ※ 図示による ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続縦補強に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に接する部分												
	2 既存構造体の撤去	既存構造体の撤去 [8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] 撤去の範囲 ※ 図示による ・ 撤去する既存コンクリート内にある鉄筋及び鉄骨の位置 [8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] <table border="1"> <tr> <th>鉄筋の切断</th> <th>取 扱</th> <th>適 用</th> </tr> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>※ 図示</td> <td>・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の範囲より一定長さ</td> <td>※ 図示</td> <td>・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし ※ 継手長さ</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td> <td>※ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋</td> <td>・ コンクリートの範囲</td> </tr> </table>	鉄筋の切断	取 扱	適 用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし	・ コンクリート撤去範囲の範囲より一定長さ	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし ※ 継手長さ	・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	※ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋	・ コンクリートの範囲
	鉄筋の切断	取 扱	適 用											
・ 既存鉄筋は切断せず残す	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし												
・ コンクリート撤去範囲の範囲より一定長さ	※ 図示	・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし ※ 継手長さ												
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	※ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋	・ コンクリートの範囲												
3 (既存部分の処理) 既存構造体コンクリートの表面目荒らし	既存構造体コンクリートの表面目荒らし [8.19.3] [8.20.3] [8.21.3] 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打積全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示による 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示による													
8 の 3 耐震改修工事 鉄筋工事	1 (鉄筋工事材料) 鉄筋	[5.2.1] (表5.2.1) [8.2.1] [表8.2.1] 材質 [表8.2.1] による <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ SD295A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	径 (mm)	○ SD295A		・ SD345		・ SD390					
	種 別	径 (mm)												
	○ SD295A													
	・ SD345													
	・ SD390													
2 溶接金網	網目の形状寸法及び鉄線の径 [5.2.2] [8.2.2] 網目の形状寸法 鉄線の径													
3 (鉄筋の加工及び組立て) 鉄筋の加工及び組立て一般事項	鉄筋の継手 [5.3.4] (表5.3.2) [8.3.4] <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>接合方法</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の接合</td> <td>・ 重ね継手 ※ ガス圧接</td> <td>※ D19以上 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※ 重ね継手 ・ ガス圧接</td> <td>※ D6以下 ・ ()</td> </tr> </table>	部 位	接合方法	径 (mm)	柱、梁の接合	・ 重ね継手 ※ ガス圧接	※ D19以上 ・ ()	その他	※ 重ね継手 ・ ガス圧接	※ D6以下 ・ ()				
部 位	接合方法	径 (mm)												
柱、梁の接合	・ 重ね継手 ※ ガス圧接	※ D19以上 ・ ()												
その他	※ 重ね継手 ・ ガス圧接	※ D6以下 ・ ()												
4 (各部の配筋) 柱の配筋	帯筋の組立ての形の種別 (別図2.2) [8.3.4] [図8.3.4] ・ H形 () ※ W-I形 W-II形 W-III形													
5 梁の配筋	あばら筋の種別、径及び間隔 (別図3.2) [8.3.2]													

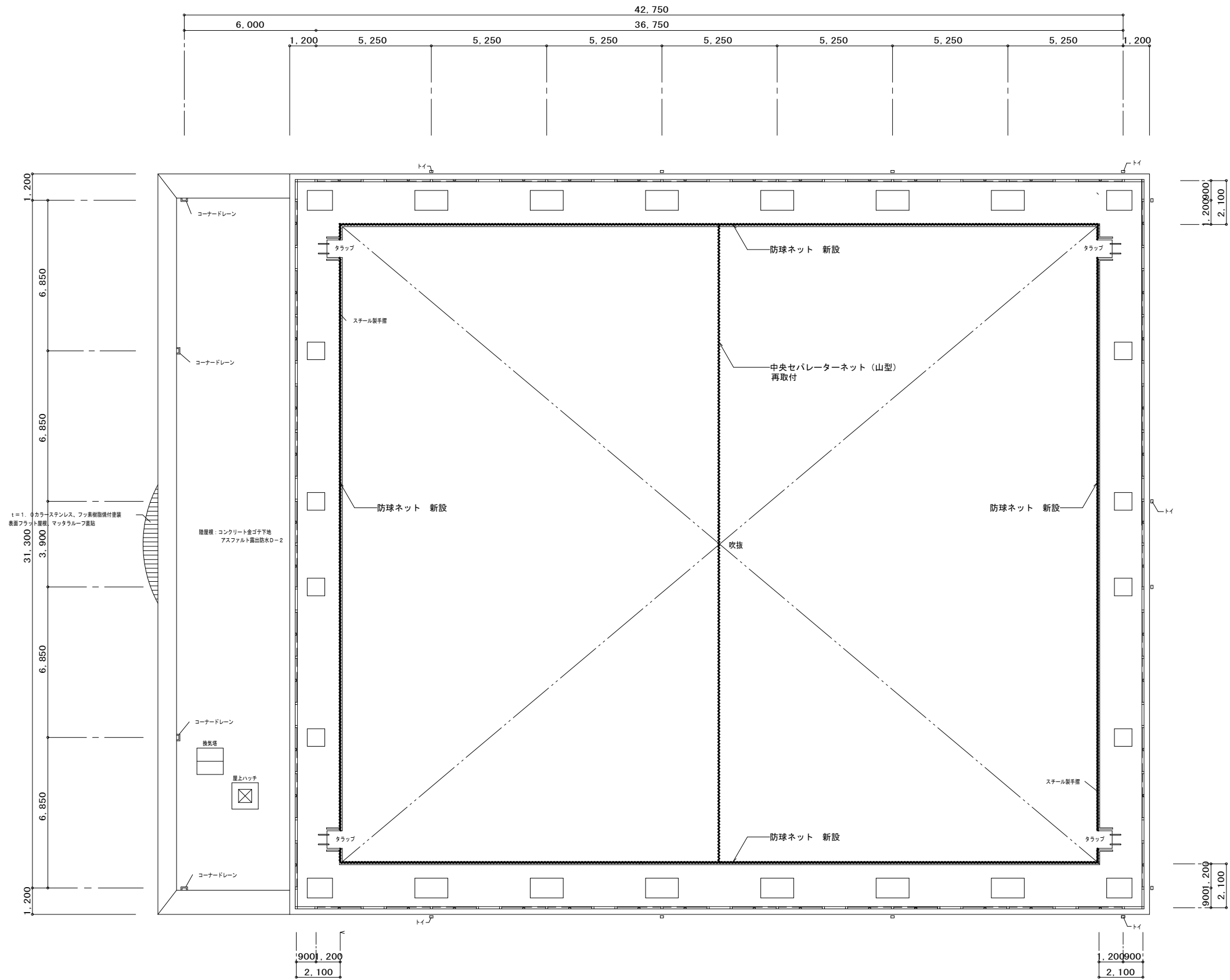
8 の 3 耐震改修工事 鉄骨工事	6 壁の配筋	壁の配筋の種類 (別図4.1) [8.3.7] ※ 図示による () 壁配筋の定着長さ [8.3.7] <table border="1"> <tr> <th>定 着</th> <th>範 囲</th> </tr> <tr> <td>※ 定着部図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 定着長さ (L2)</td> <td>・ 定着部を示した範囲以外全て</td> </tr> </table>	定 着	範 囲	※ 定着部図示	※ 図示	・ 定着長さ (L2)	・ 定着部を示した範囲以外全て														
	定 着	範 囲																				
	※ 定着部図示	※ 図示																				
・ 定着長さ (L2)	・ 定着部を示した範囲以外全て																					
7 壁の開口補強	一般壁の開口部補強 [8.3.7] (別図4.3) ※ 図示による																					
8 スラブの配筋	スラブの配筋種別及び厚さ (表5.1) (別図5.1) ※ 図示による ()																					
9 (ガス圧接) ガス圧接	圧接完了後の試験 (5.4.9) [8.3.8] 超音波探傷試験 ・ 行う。 ・ 行わない。																					
8 の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	1 (コンクリート工事一般事項) コンクリートの種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) [8.1.4] <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 f_c (N/mm²)</th> <th>適用範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td></td> </tr> </table> 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) (6.10.1) (表6.10.1) [8.1.3] [8.9.1] (表8.9.1) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 f_c (N/mm²)</th> <th>種 別</th> <th>適用範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 27</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 f_c (N/mm ²)	適用範囲	・ 21		設計基準強度 f_c (N/mm ²)	種 別	適用範囲	・ 21	・ 1種 ・ 2種		・ 27									
	設計基準強度 f_c (N/mm ²)	適用範囲																				
	・ 21																					
設計基準強度 f_c (N/mm ²)	種 別	適用範囲																				
・ 21	・ 1種 ・ 2種																					
・ 27																						
2 レディミクストコンクリートの種類	※ 1種 ・ 2種 (表6.2.1) [表8.1.1]																					
3 普通コンクリート	セメントの種類 (6.3.1) (表6.3.1) [8.2.5] [表8.2.3] ※ 普通ポルトランドセメント又は高強度セメントの4種 () 上記普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に示された規定のもの、右表の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210 ポルトランドセメント (低アルカリ) による。 <table border="1"> <tr> <th>水和熱 (J/g)</th> <th>7日</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>28日</th> <th>—</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>全アルカリ (%)</th> <th>0.75以下</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>低アルカリ (%)</th> <th>0.03以下</th> <th>—</th> </tr> </table>	水和熱 (J/g)	7日	—	28日	—	—	全アルカリ (%)	0.75以下	—	低アルカリ (%)	0.03以下	—									
水和熱 (J/g)	7日	—																				
28日	—	—																				
全アルカリ (%)	0.75以下	—																				
低アルカリ (%)	0.03以下	—																				
4 コンクリートの打込み工法等	部位毎にコンクリートの打設工法の指定 [8.19.8] [8.21.5] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>現場打ちコンクリートの増設工事</td> <td>・ 流込み工法 [8.19.8(a)(1)(b)]</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 圧入工法</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 流込み工法 [8.19.8(a)(1)(b)]</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 圧入工法</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示</td> </tr> </table>	種別	打設工法	部位	現場打ちコンクリートの増設工事	・ 流込み工法 [8.19.8(a)(1)(b)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示		・ 圧入工法	・ 全ての増設壁 ・ 図示		・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 [8.19.8(a)(1)(b)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示		・ 圧入工法	・ 全ての増設壁 ・ 図示		・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示
種別	打設工法	部位																				
現場打ちコンクリートの増設工事	・ 流込み工法 [8.19.8(a)(1)(b)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示																				
	・ 圧入工法	・ 全ての増設壁 ・ 図示																				
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示																				
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 [8.19.8(a)(1)(b)]	・ 全ての増設壁 ・ 図示																				
	・ 圧入工法	・ 全ての増設壁 ・ 図示																				
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示																				
8 の 5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	1 (あと施工アンカー) あと施工アンカーの材料	[8.2.4] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>セットの方式</th> <th>※ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 金属系</td> <td>埋込み深さ</td> <td>※ 図示 ()</td> </tr> <tr> <td>引張耐力</td> <td>※ 図示 ()</td> </tr> <tr> <td>せん断耐力</td> <td>※ 図示 ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 接着系</td> <td>カプセル型</td> <td>※ 有機系 ・ 無機系</td> </tr> <tr> <td>埋込み深さ</td> <td>※ 図示 ()</td> </tr> <tr> <td>引張耐力</td> <td>※ 図示 ()</td> </tr> <tr> <td>せん断耐力</td> <td>※ 図示 ()</td> </tr> </table> あと施工アンカーの性能確認試験 [8.2.4] ・ 実施する。 ※ 実施しない。	種類	セットの方式	※ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型)	・ 金属系	埋込み深さ	※ 図示 ()	引張耐力	※ 図示 ()	せん断耐力	※ 図示 ()	・ 接着系	カプセル型	※ 有機系 ・ 無機系	埋込み深さ	※ 図示 ()	引張耐力	※ 図示 ()	せん断耐力	※ 図示 ()	
	種類	セットの方式	※ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型)																			
	・ 金属系	埋込み深さ	※ 図示 ()																			
引張耐力		※ 図示 ()																				
せん断耐力		※ 図示 ()																				
・ 接着系	カプセル型	※ 有機系 ・ 無機系																				
	埋込み深さ	※ 図示 ()																				
	引張耐力	※ 図示 ()																				
せん断耐力	※ 図示 ()																					
試験方法	(社) 日本建築あと施工アンカー協会とあと施工アンカー標準試験法による ()																					
試験対象のあと施工アンカー	※ 図示による ()																					
試験数	()																					

Bの5 建築改修工事 あんまりかんたん 簡単	2 あと施工アンカーの施工	あと施工アンカーの施工確認試験 ・実施する。 ・実施しない。 [8. 11. 5] 確認試験方法及び試験数 ※ [8. 11. 5] による。 ・ () 確認強度 ※ アンカーの鋼材による引張荷重、またはコンクリート破壊による引張荷重 (埋め込み及びへりあきの影響を受ける場合は低減した荷重) の小さい値の2/3とする。 (接着系の場合は、付着破壊の荷重も考慮する) ・ () 穿孔前の場込み配管等の探査 [8. 11. 2] 範囲 ※ 図示による ・ あと施工アンカー施工部分まで () 方法 ※ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に照出を行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () 場所打ちコンクリート壁の増設工事 3 シアコネクタ 場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ [8. 2. 4] [8. 3. 4] 種類 ※ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径 (mm) ※ D10 長さ (mm) ※ 増打壁厚-40 () 形込み深さ (mm) ※ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 間隔 (mm) ※ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 [8. 7. 8] ※ 兼用してもよい。 ・ 兼用しない。 ・ ()	8の7 耐震改修工事 グラフィック	(グラウト工事) 1 モルタル及びグラウト材 構造体用モルタル ※ [8. 2. 6] 及び [8. 2. 11] による () 無収縮モルタル材 ※ (7. 2. 9) 及び [8. 2. 11] による () グラウト材 ※ [8. 2. 11 (C)] による (性能は、建築材料等品質検査による) (現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等) 2 既存構造体と増設壁との接合部の処理方法 [8. 19. 9] 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との接合部の処理方法 部位 区分方法 備考 ・ 増設壁の上部 ※グラウト材を注入 ※注法は図示による ・ () ・ ()	9 環境配慮 グリーン 改修工事	1 アスベストの処理 とりこわし工事に先立ち、鳥獣性アスベストの除去工事を行う。 [9. 1. 1] 処理方法 施工場所 ※ 除去処理 ・ 封じ込め処理 建築物などの保全技術 ・ 技術審査証明事業により証明された業者及び工法とする。 分析によるアスベスト含有調査 ・ 行う ・ 行わない アスベスト粉じん濃度測定 ・ 行う ・ 行わない 測定時期 測定名称 測定場所 測定点 備考 処理作業前 測定1 処理作業室内 ※各室共 2点 5.0m以下 5.0m~3.0m 以下 3点 処理作業中 測定2 調査対象室外部付近 ※に同じ 2点 大気 測定3 処理作業室内 ※に同じ 測定4 負圧、除じん装置の排気吹き出し口 (風速1m/s以下の位置) 2点 大気 処理作業後 (シート養生中) 測定5 処理作業室内 2点 シート除去後処理 測定6 処理作業室内 ※に同じ 作業後1週間以内 測定7 調査対象室外部付近 2点 大気 測定点合計 ()	9 環境配慮 グリーン 改修工事	5 透水性アスファルト舗装 路床の構成及び仕上がり [9. 7. 3] ・ 遮断層 厚さ (mm) ※ # () ・ 遮上層 厚さ (mm) ※ # () ・ フィルター層 厚さ (mm) 車道部 ※ # () 路床安定処理 ※行う (添加材) ※ # () ・ 行わない 土の層別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 C種の場合 (建設発生土受入量 () m3) 発生場所 () 路床土の支持力 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない、 路床の締固め試験 ・ 行う ・ 行わない、 砂の粒度試験 ・ 行う 発生土の処理 ※ 搬出場所 () ・ 搬出距離 () km ・ 搬出場所 () ・ 敷きならし () 舗装材料及び仕上がり [9. 7. 4] ・ 再生クランチャラン ・ クランチャラン鉄鋼スラグ ・ () 舗装厚さ (mm) 車道部 ※ # () 歩道部 ※ # () 舗装の締固め試験 ・ 行う。 ・ 行わない、 舗装材料及び仕上がり [9. 7. 5] [9. 7. 6] 車道部 ※ ポリマー改質アスファルト1種 厚さ (mm) () ・ () 歩道部 ※ ストレートアスファルト 厚さ (mm) () ・ () 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う。 ・ 行わない。 [9. 7. 9]
	Bの6 耐震改修工事 鉄骨工事	(鉄骨工事一般事項) 1 鉄骨製作工場 ・ 監督員の承諾する工場 (7. 1. 3) [8. 1. 5] ・ 建築基準法第7条の4第5項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める、下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ H ・ M ・ R ・ J グレード ・ 下記の条件を満たしている工場 イ) WES103 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ロ) NDIUT 3級 () 名以上 4級 () 名以上 ハ) 超音波探傷機 () 台以上 ニ) 鉄骨製作管理技術者 1級 () 名以上 2級 () 名以上 ホ) 半自動溶接技術者 下向き及び横向き () mmの資格を有するもの () 名以上 ヘ) 手溶接技術者 下向き及び横向き () mmの資格を有するもの () 名以上 2 施工管理技術者 (鉄骨材料) 3 鋼材 鉄骨製作管理技術者の適用 (7. 4. 4) [8. 1. 5] 適用 ・ しない。 ・ する。 4 高力ボルト 高力ボルトの適用 (7. 2. 2) [8. 2. 9] ※ トルシアン高力ボルト (認定セットの種類 ※2種 (S10T) ()) ・ 溶融亜めっき高力ボルト (認定セットの種類 ※1種 (F81相) ()) (鉄骨工作) 5 仮組 仮組の実施 (7. 3. 10) [8. 12. 9] ・ 実施する () ・ 実施しない。 6 技能資格者 溶接作業における技能資格者の技量付加試験 (7. 6. 3) [8. 14. 3] ・ 実施する () ・ 実施しない。 (溶接接合) 7 溶接条件 入熱、バス温度等の溶接条件 (7. 6. 10) [8. 14. 10] 適用箇所 ・ 図示による () ・ 柱、梁、ブレース接合部の完全溶け込み溶接部 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示による () 8 溶接部の試験 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験 (7. 6. 11) (7. 6. 12) 工場溶接の場合 [8. 14. 11] [8. 14. 12] ※ 全数試験とする ・ (7. 6. 11 (B)) による。 平均出荷品質限界 (AQL) ※4. 0% ・ 2. 5% 検査水準 ※第6水準 () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ※ 全数試験とする ・ (7. 6. 11 (B)) による。 平均出荷品質限界 (AQL) ※4. 0% ・ 2. 5% 検査水準 ※第6水準 () ロットの構成 () (耐火被覆) 9 耐火被覆材の種類及び性能 耐火被覆材の種類 (7. 9. 2) (7. 9. 3) [8. 17. 2] [8. 17. 3] 耐火被覆材の種類 使用箇所 ・ ラス張りモルタル張り (7. 9. 7) [8. 17. 7] ・ 図示 ・ 耐火材吹付け (7. 9. 4) [8. 17. 4] ・ 図示 ・ 吹付けロックウール ・ 電式 ・ 平靴式 ・ 湿式ロックウール ・ 耐火板張り (7. 9. 5) [8. 17. 5] ・ 図示 ・ () 所要性能 所要性能 構造区分 適用範囲 ・ 30分耐火 ・ () ・ () ・ 1時間耐火 ・ () ・ () ・ ()	8の8 耐震改修工事 連続繊維補強工事	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート等による工法 [8. 21. 7] 2 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ ガラス繊維 () [8. 21. 12] 炭素繊維の材質 引張強度 (含浸硬化後) ・ 3. 4GMPa以上 ・ 2. 900MPa以上 ・ () ヤング係数 (含浸硬化後) ・ 230GPa程度 () 炭素繊維の目付量 ※ 図示 ・ 200g/m ² ・ 300g/m ² () 炭素繊維シートの巻き数 ※ 図示 ・ 1巻き ・ 2巻き () 引張強度試験 ・ 実施する (JIS K 7073 に準拠する) ※ 実施しない。 試験数量 () 付着強度試験 ・ 実施する (JIS A 6909 に準拠する) ※ 実施しない。 試験数量 () 3 連続繊維シートの施工準備 仕上がりモルタルの除去 ※ 既存構造体面まで除去する。 ・ モルタル除去は行わない。 ・ () 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う () ・ 行わない。 柱の隅部部の取取り ※ 工法の評価内容により、半径は20mm又は30mmとする。 ・ () [8. 21. 7] 4 炭素繊維シートの施工 炭素繊維の目付量 ※ 図示 ・ 200g/m ² ・ 300g/m ² () 炭素繊維シートの巻き数 ※ 図示 ・ 1巻き ・ 2巻き () 引張強度試験 ・ 実施する (JIS K 7073 に準拠する) ※ 実施しない。 試験数量 () 付着強度試験 ・ 実施する (JIS A 6909 に準拠する) ※ 実施しない。 試験数量 () 5 連続繊維補強材の強度試験 [8. 21. 7] 引張強度試験 ・ 実施する (JIS K 7073 に準拠する) ※ 実施しない。 試験数量 () 付着強度試験 ・ 実施する (JIS A 6909 に準拠する) ※ 実施しない。 試験数量 ()	2 アスベスト含有成形板の処理等 [9. 1. 5] アスベスト成形板の種類等 [9. 1. 5] 種類 厚さ (mm) 備考 ・ 化粧せっこうボード ・ 9. 5 ・ ビニル床タイル ・ 2. 0 ・ () ・ () 3 断熱材 [9. 3. 2] [9. 5. 2] 外断熱及び断熱材打込み工法 [9. 3. 2] [9. 5. 2] 種類 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ 保温層 (2種b) ・ 2. 5 ・ 保温層 (3種b) ・ 2. 5 ・ 硬質ウレタンフォーム ・ () ・ () ・ () 既存外壁の処置 [9. 3. 3] 下地面の清掃 ・ 行う 下地面欠損部の改修工法 () 通気層 ・ 有 (厚さ) () ・ 無 断熱材現場発泡工法 [9. 5. 3] 断熱性 厚さ (mm) 施工箇所 ・ A種1 ・ 2. 5 ※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、 ・ A種2 部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ A種3 ・ () ・ 目録1 ・ 目録2 4 屋上緑化 [9. 6. 2] 屋上緑化システム ・ 行う ・ 行わない 芝、地被等の種類 () 見切り材 () 舗装材 () 水切き管 () マルチング材 () 風圧力に対応した固定方法 () [9. 6. 3] かん水装置 ・ 設ける ・ 設けない 種類 ()	3 断熱材 [9. 3. 2] [9. 5. 2] 外断熱及び断熱材打込み工法 [9. 3. 2] [9. 5. 2] 種類 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ 保温層 (2種b) ・ 2. 5 ・ 保温層 (3種b) ・ 2. 5 ・ 硬質ウレタンフォーム ・ () ・ () ・ () 既存外壁の処置 [9. 3. 3] 下地面の清掃 ・ 行う 下地面欠損部の改修工法 () 通気層 ・ 有 (厚さ) () ・ 無 断熱材現場発泡工法 [9. 5. 3] 断熱性 厚さ (mm) 施工箇所 ・ A種1 ・ 2. 5 ※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、 ・ A種2 部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ A種3 ・ () ・ 目録1 ・ 目録2 4 屋上緑化 [9. 6. 2] 屋上緑化システム ・ 行う ・ 行わない 芝、地被等の種類 () 見切り材 () 舗装材 () 水切き管 () マルチング材 () 風圧力に対応した固定方法 () [9. 6. 3] かん水装置 ・ 設ける ・ 設けない 種類 ()	工事区分 別表-1の記入上の注意 該当箇所は●(黒塗り)とし該当しない工事内容及び区分は斜線除去すること 別表-1 設備工事と工事区分表	工事内容 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 その他 電気関係 配電盤 ・ 制御盤の基礎 ・ 屋内 ・ 屋外 自警発電機の基礎 (アンカーボルトを除く) ○ テレビジョン架台 () ○ 避雷針の基礎 () ○ 屋内設備 (架台、アンカーボルトを除く) ○ 屋上設備 () ○ 屋外設備 () ○ 架台、アンカーボルト 特記した基礎 ○ 開口部 床、壁、天井 貫通スリーブ 補強を要するもの ○ 貫通スリーブ 補強を要しないもの ○ 床、壁、天井 貫通型枠 補強を要するもの ○ 貫通型枠 補強を要しないもの ○ 軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込 補強を要するもの ○ 補強を要しないもの (Plywood)は除く ○ 埋込形電源、端子盤等の架台 補強を要するもの ○ 補強を要しないもの ○ 上取開口部の補強 ○ 上取開口部の突出 スリートの穴埋め (型枠の穴埋めを含む) ○ フリーアクセスフロア用配線器具 ○ 点検口 床、壁、天井 ○ 外部取付ガラリ 玄関、チャンバーの接続用フランジを含む ○ 湯沸室のフード ○ 換気扇の取付枠 ○ 滅し音 排水トラップ共 ○ 防油堤 オイルクービスタクスの防油堤 自家用 ○ タンク基礎 空調用 ○ 床下水槽のマンホールふた 雨水 ○ 屋外排水管 汚水、雑排水 ○ 雨水立管 (たてどい) ○ トイレますり ○ 化粧がみ ○ はみ込形洗面器用カウンター (前板共) ○ ガスボンベ転倒防止用の鎖 ○ 電気配管配線 自動ドア及び電動シャッターの制御盤と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ ○ 防火扉レリーズ ○ 電機種 配線ピット及びふた ○ 機器などへの接続 (1次側) ○ 機器付属の制御盤以降の2次側の配管配線 (接地共) ○ 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 ○ 自動制御盤と動力盤との電源回路の渡り配管配線 ○ 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 ○ 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチとの渡り配管 (接地共) ○ 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチ ○ 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックス ○ 個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線 (接地共) ○ 機器類から運動制御盤を経て防塵ダンパに至る配管配線 ○ 小機器用排水装置の制御盤以降の2次側の配管配線 ○ ガス漏れ検知器 ○ 電気錠 電気錠及び通電金具 ○ (○) TENキー及び制御盤 (○) ○ エレベーター出入口三方枠 (金属製) ○ (○) エレベーター出入口三方枠 (石製) ○ (○) シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン ○ ボード ・ Tバー ○ システム天井 照明ライン設備プレート ○ 空調ライン設備プレート ○
熊本県建築改修工事特記仕様書		建築士事務所名 一級 建築士事務所 熊本県 知事登録 358 号 株式会社 SDA 建築設計事務所 代表取締役 吉田 齊 設計者氏名 一級 建築士 大臣 登録第 150668 号 管理建築士 鎌田 和徳 印		工事名称 熊本県立大学アリーナ天井改修工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書 (その5) 図面番号 A-06				



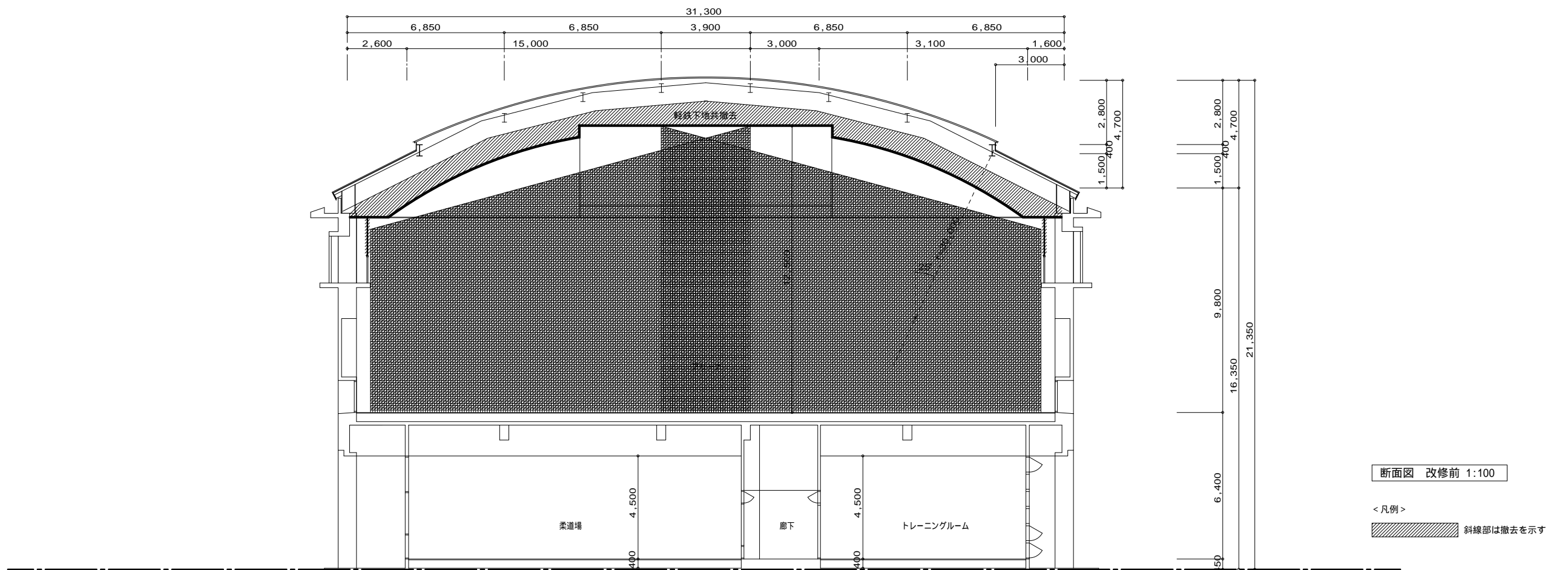
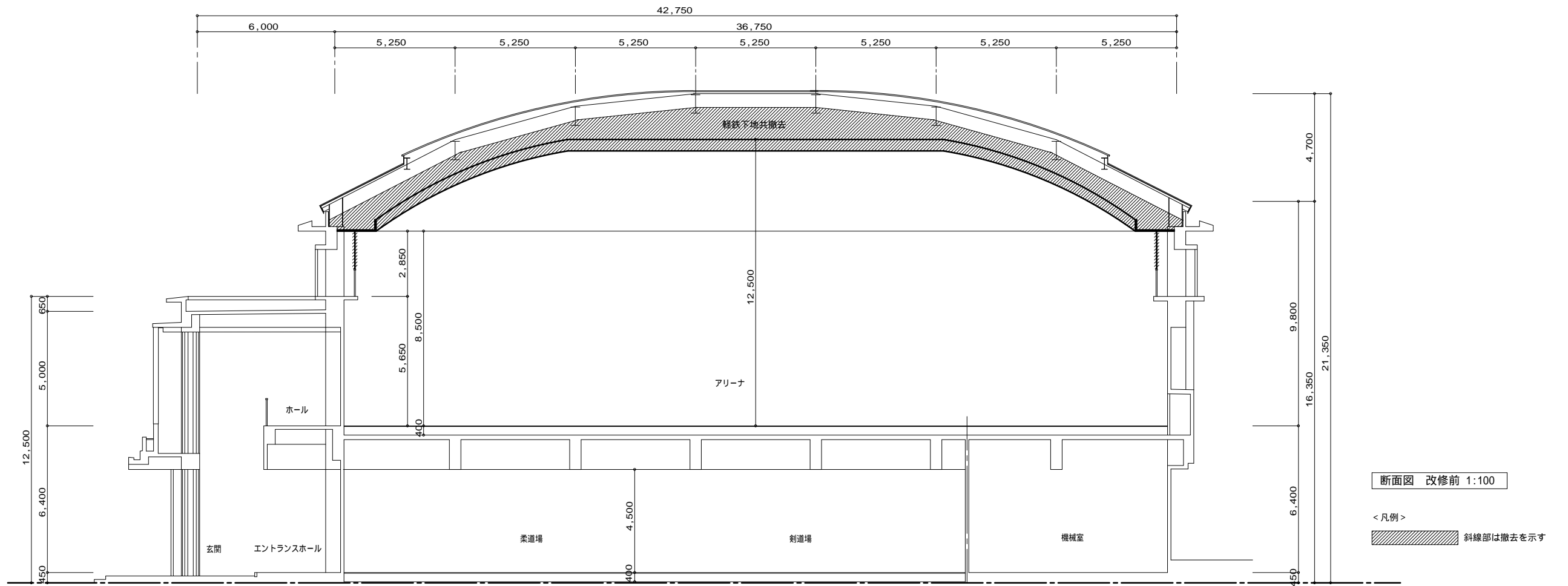
アリーナ上部平面図 改修前 1:100

株式会社SDA建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 齊 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 アリーナ上部平面図 改修前	NO. A-08
			1/100						

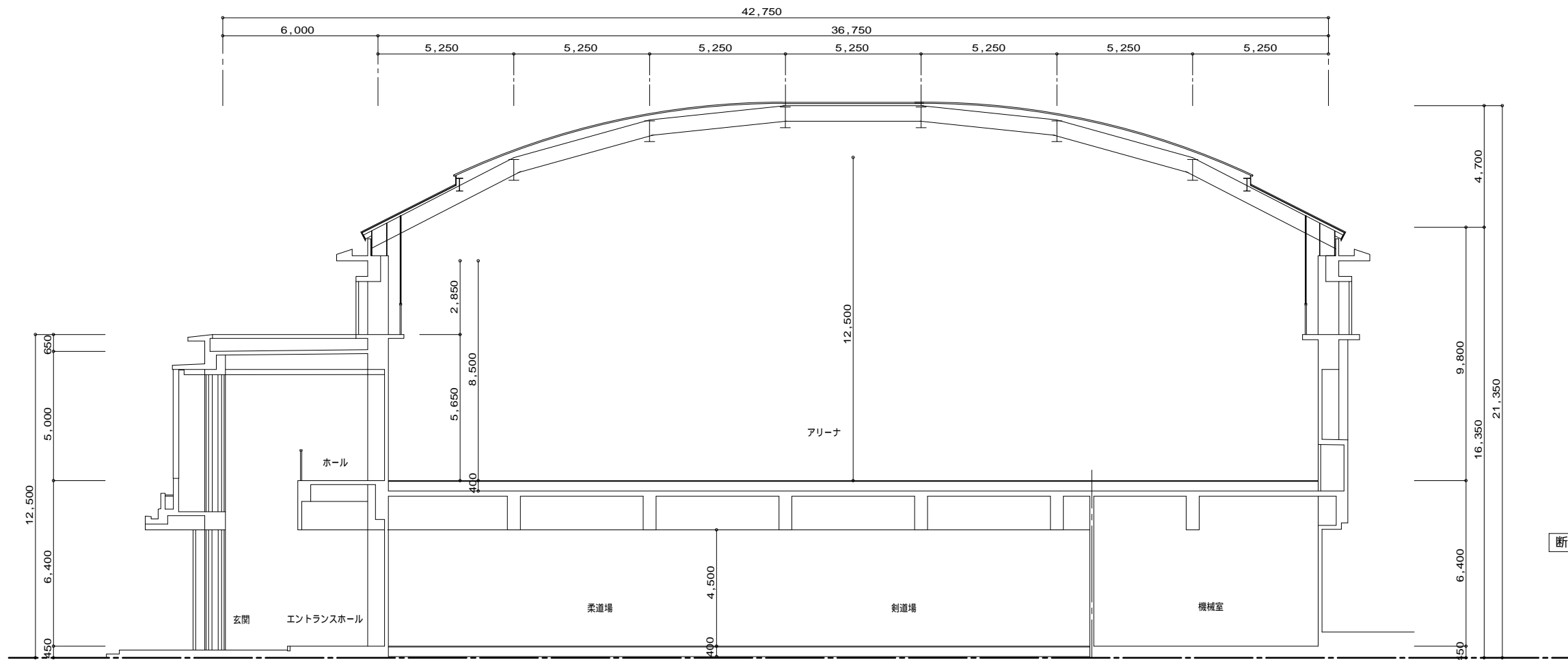


アリーナ上部平面図 改修後 1:100

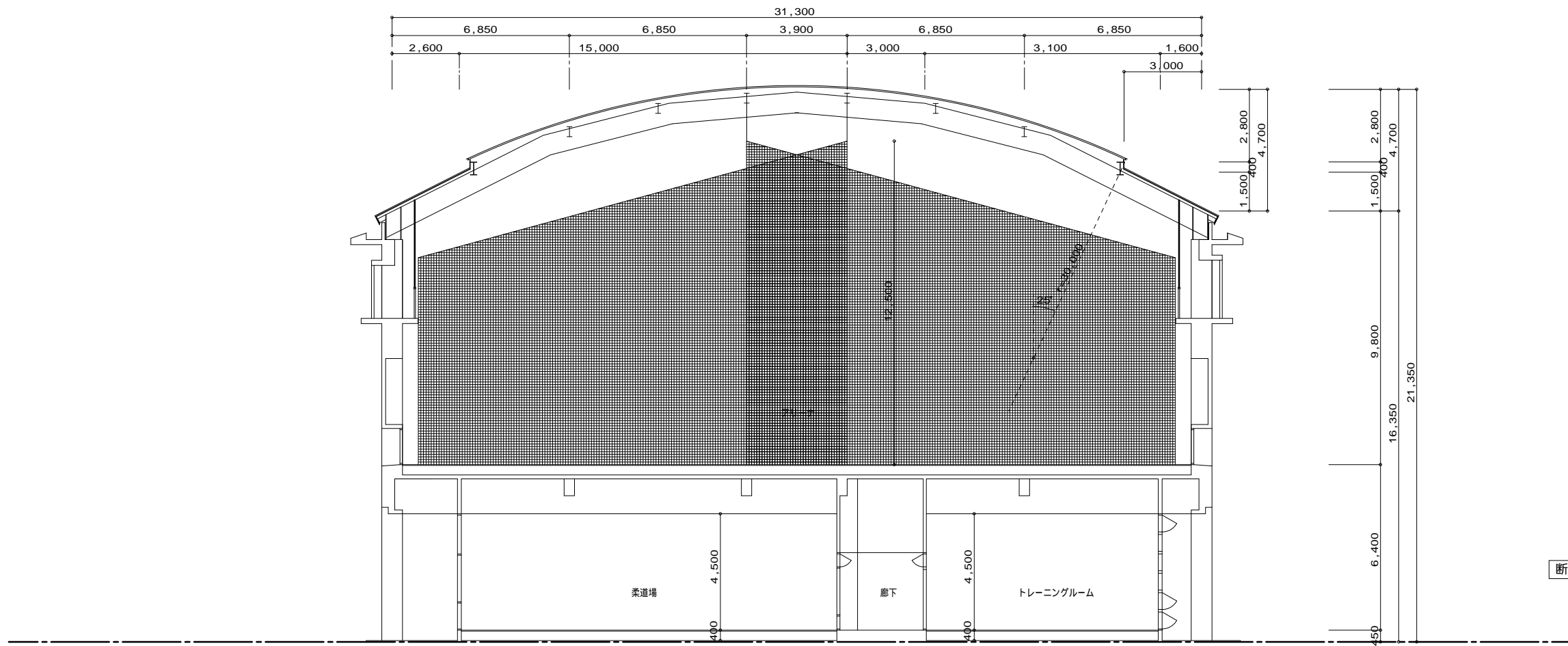
株式会社SDA建築設計事務所 熊本県中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 齊 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 アリーナ上部平面図 改修後	NO. A-09
			1/100						



株式会社 S D A 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 貴 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺 1/100	所長	主任	設計	工事名称 熊本県立大学アリーナ天井改修工事	NO. A-10
			設計年月日				図面名称 断面図 改修前	

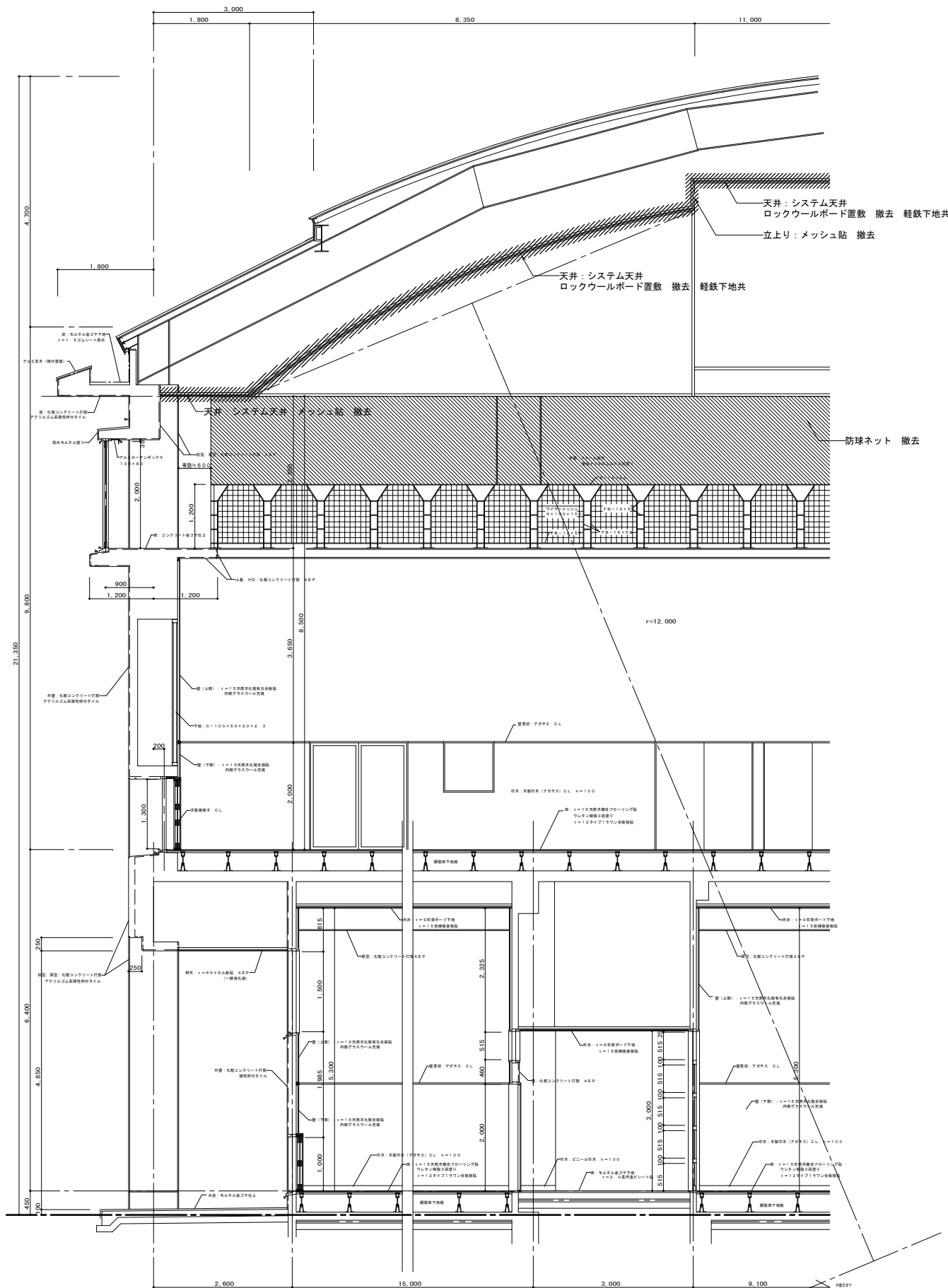


断面図 改修後 1:100



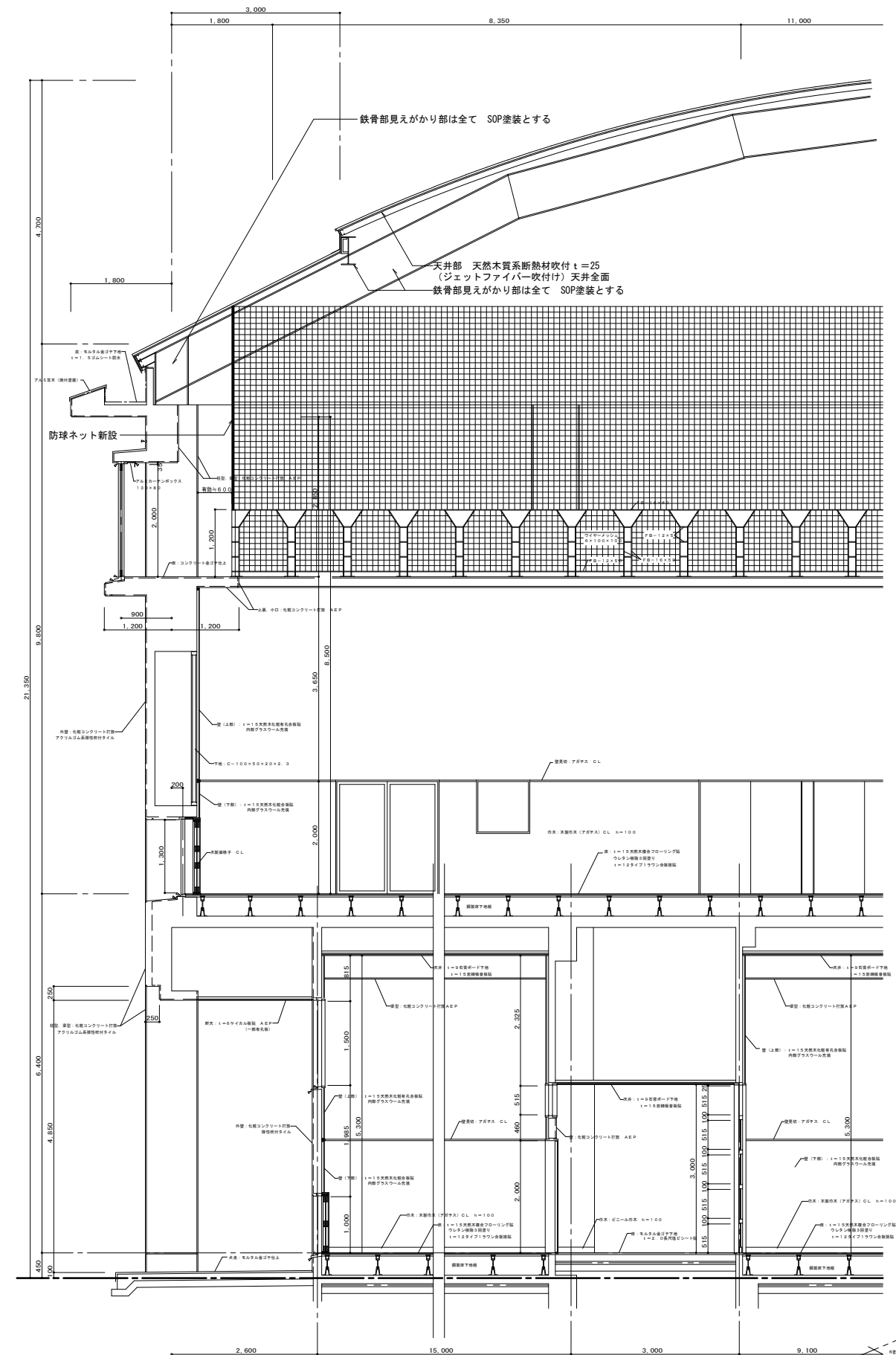
断面図 改修後 1:100

株式会社 S D A 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 育 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事	NO.
			1/100				図面名称	断面図 改修後	



矩計図 改修前 1:50

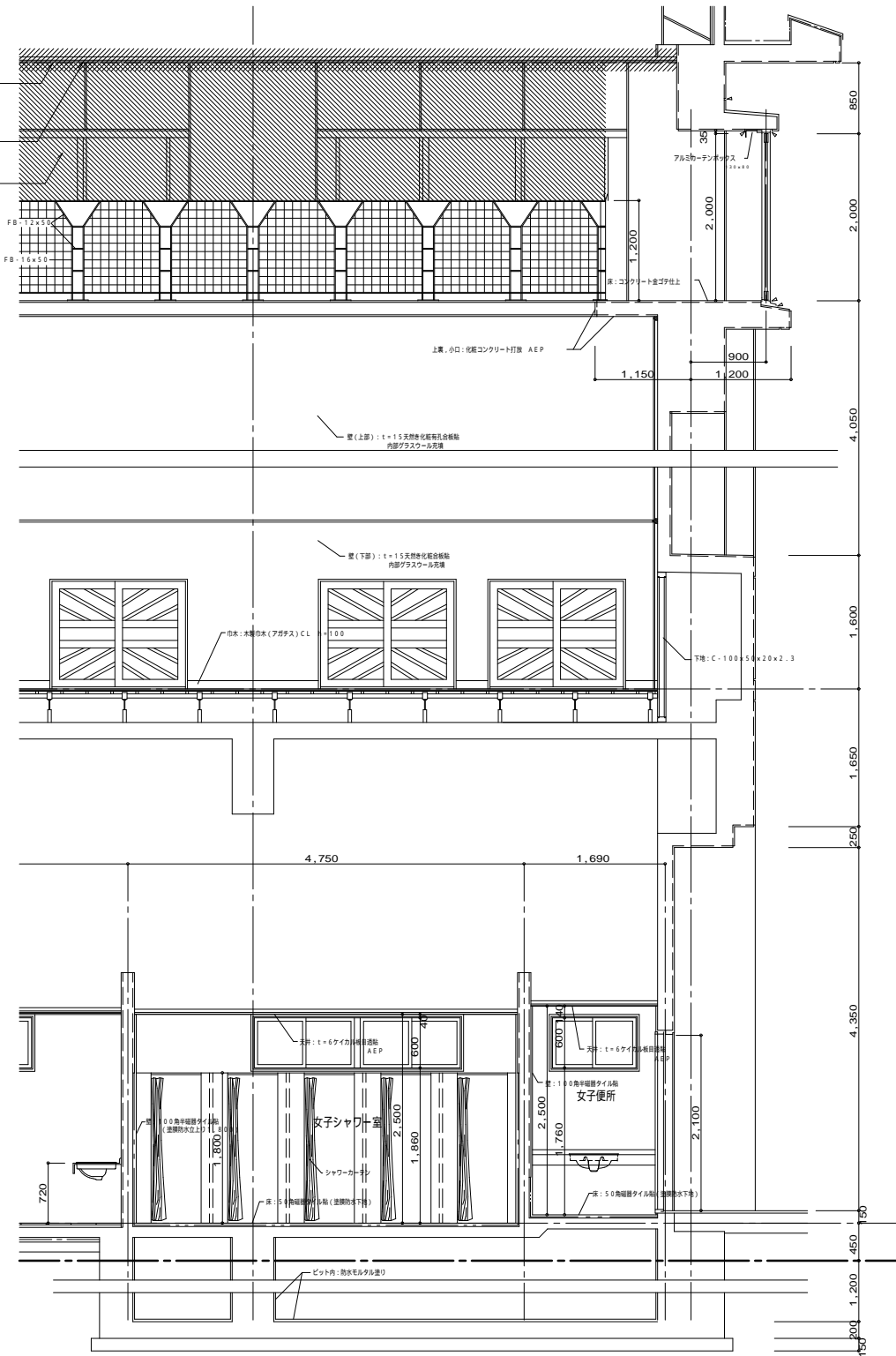
<凡例>
 斜線部は撤去を示す



矩計図 改修後 1:50

株式会社 SDA 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 齊 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 矩計図 改修前後	NO. A-12
			1/50				図面名称		

天井：システム天井
 ロックウールボード置敷 撤去
 軽鉄下地共
 天井：システム天井 メッシュ貼
 軽鉄下地共
 防球ネット 撤去

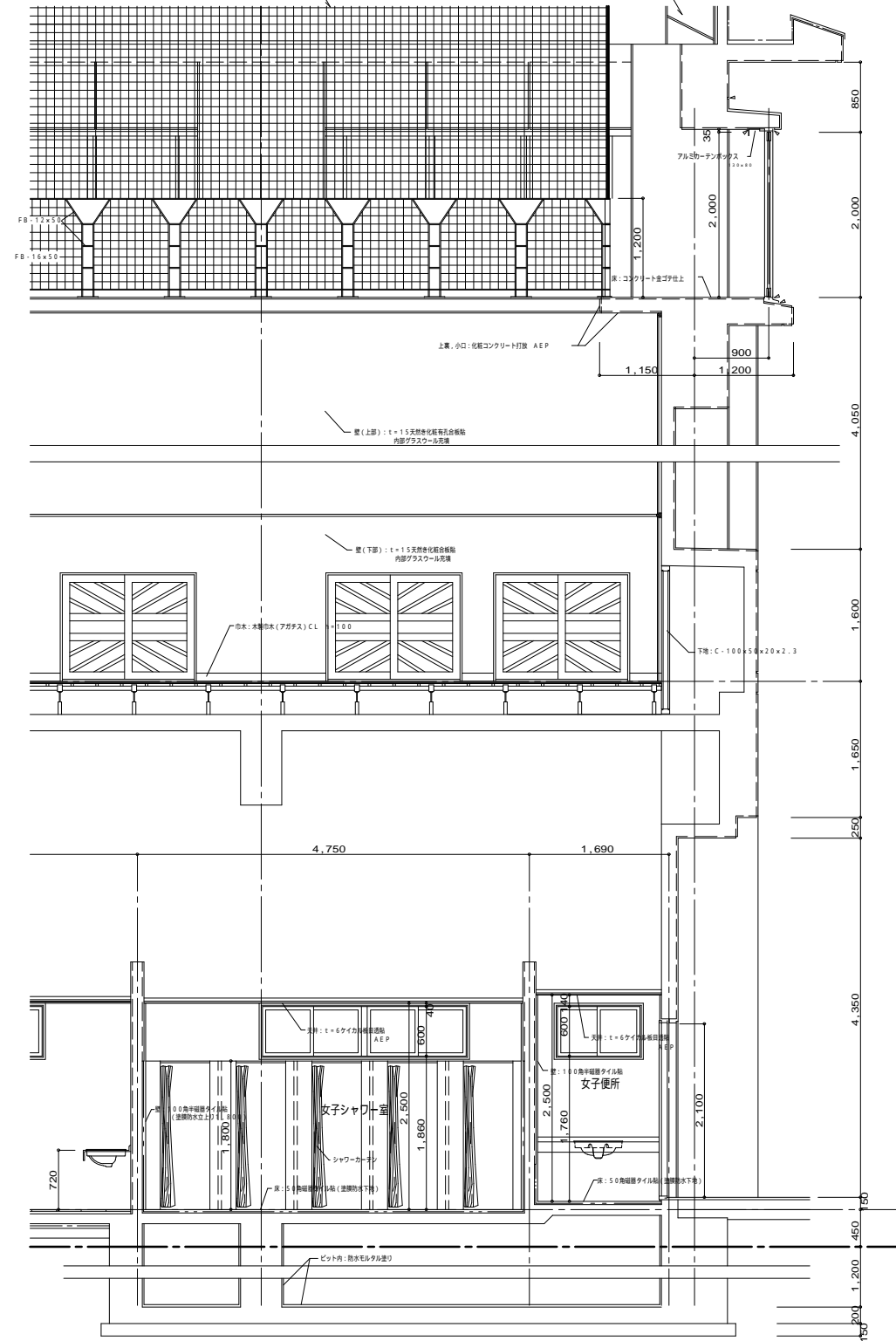


断面詳細図 改修後 1:50

< 凡例 >

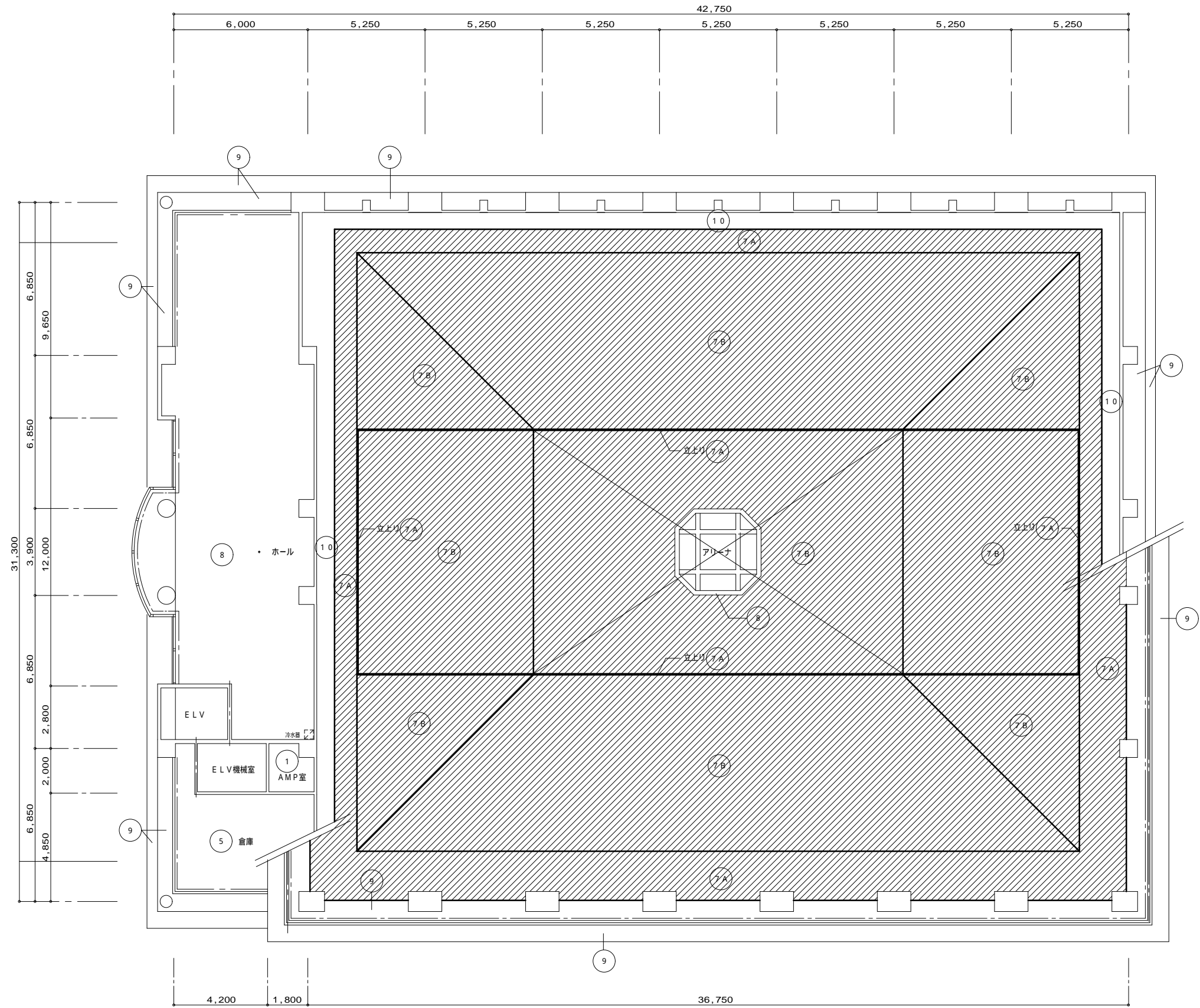
斜線部は撤去を示す

防球ネット 新設
 鉄骨部見えがかり部は全て SOP塗装とする



断面詳細図 改修前 1:50

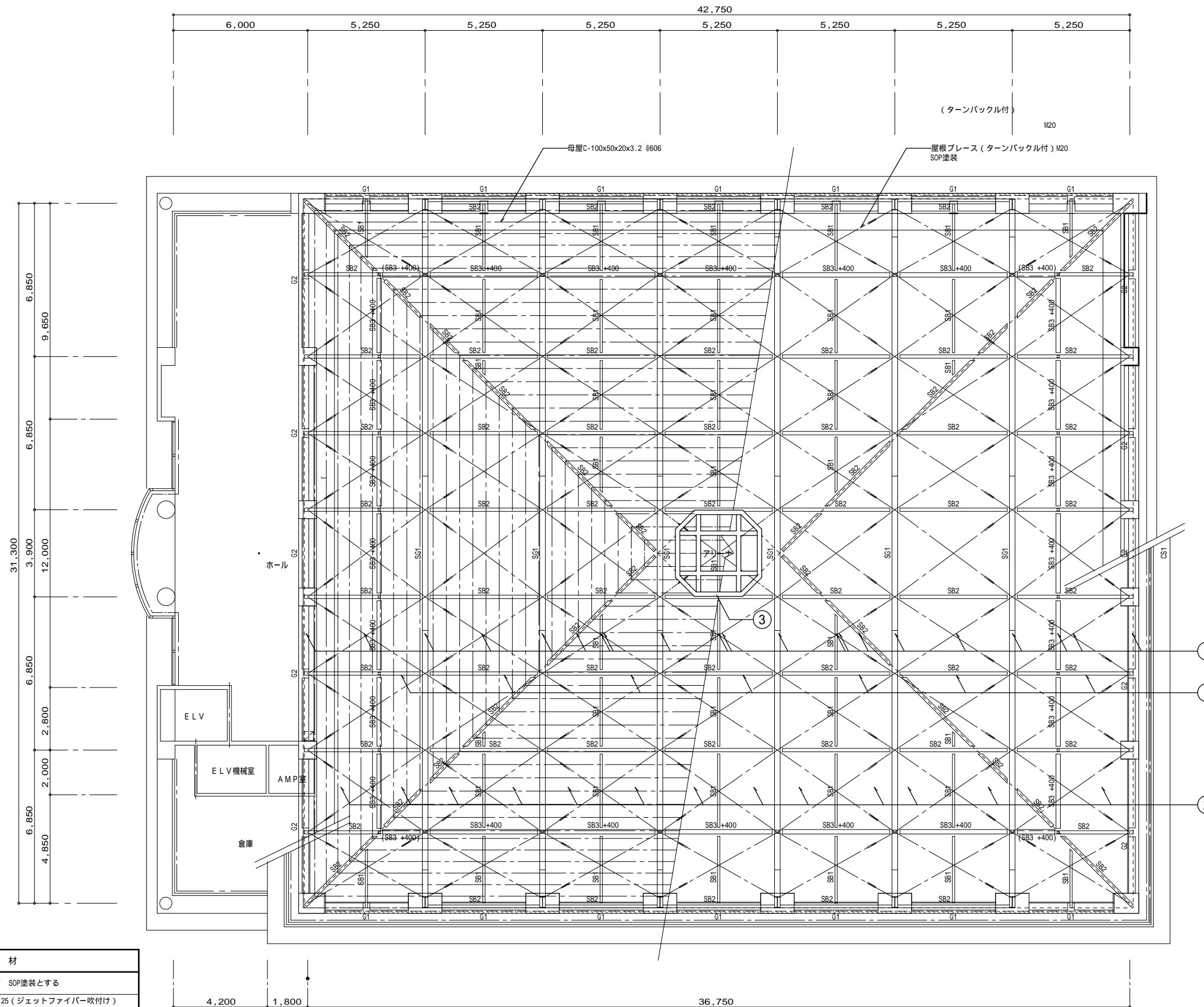
株式会社 S D A 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 育 TEL (096) 381-2316	© 一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺 1/30	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 断面詳細図 改修前後	NO. A-13
			設計年月日			図面名称			



番号	仕上材
⑦A	システム天井 メッシュ貼 撤去 軽鉄下地共
⑦B	システム天井 ロックウールボード置敷 撤去 軽鉄下地共
⑧	既存のまま スピーカーカバー

< 凡例 >
 斜線部は撤去を示す

2階天井伏図 改修前 1:100



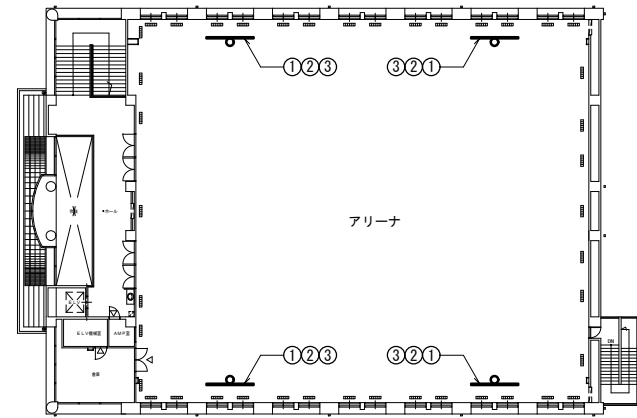
2階天井伏図 改修後 1:100

番号	仕上材
①	鉄骨部見えがかり部は全て SOP塗装とする
②	天然木質系断熱材吹付 t=25 (ジェットファイバー吹付け) 天井面全面に吹付け (鉄骨梁、プレース以外)
③	スピーカーカバー 周囲カバー新設 SOP塗装 天井撤去後、既存部分を調査後、施工図を作成し、 監督員の承諾を得る事。

- 凡例
- (1) R C断面を示す。
 - (2) 柱・梁フカシを示す。
 - (3) 特記なき小梁レベルは、大梁天端±0とする。
 - (4) () 付き小梁符号は、2段梁とする。

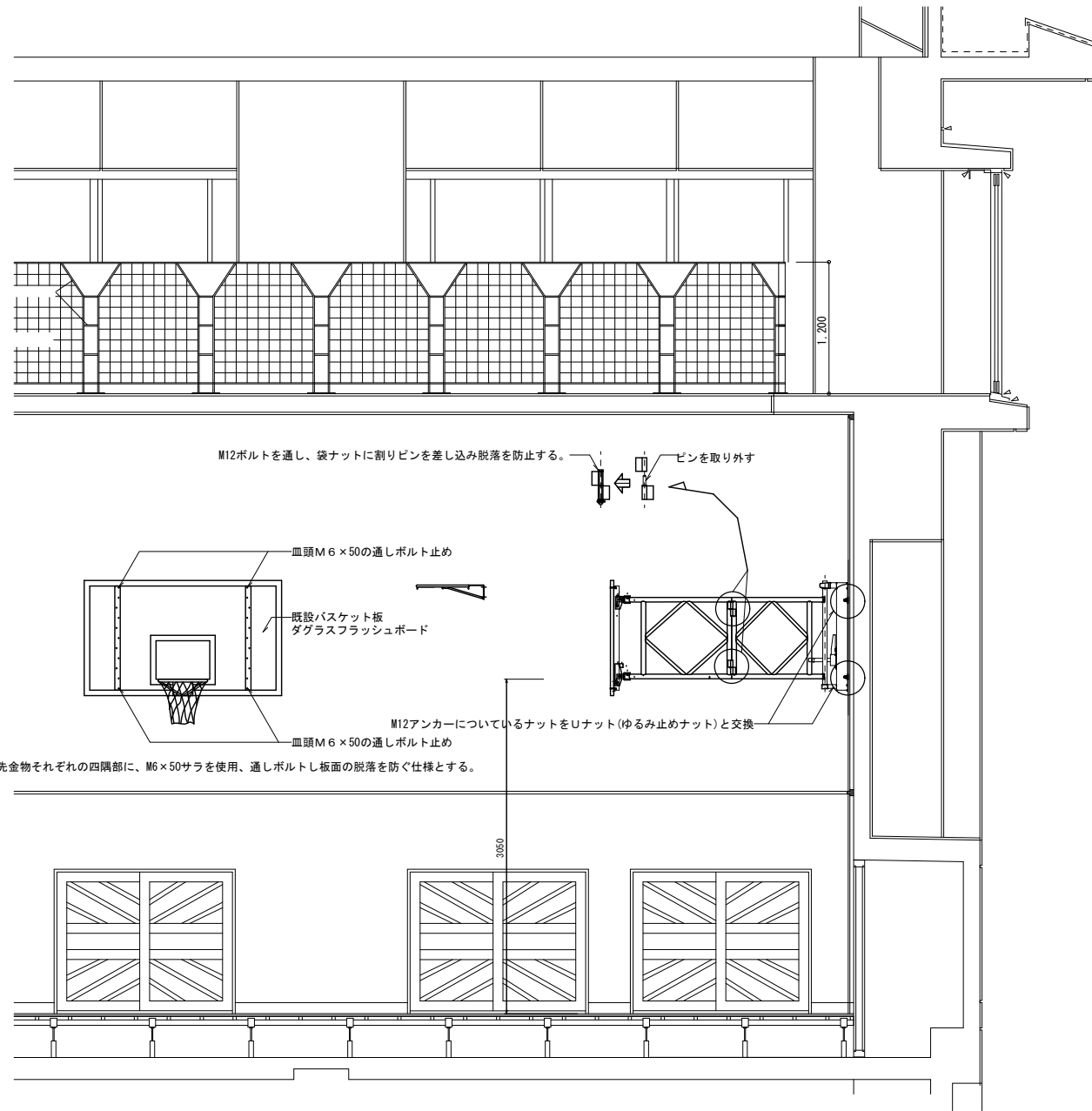
梁断面リスト 1:40	
符号	SG1
位置	全断面
断面	
BxD	BH - 800 x 250 x 12 x 22
上端筋	
腹筋	フランジ 2PL-16, 4PL-19 HTB 2x2x10-M22
下端筋	ウェブ 2PL-12 HTB 2x7-M22
あばら筋	
備考	
符号	SB1
位置	全断面
断面	
BxD	H - 199 x 99 x 4.5 x 7
上端筋	
腹筋	継手 G.PL-9 HTB 2-M16
下端筋	
あばら筋	
備考	
符号	SB2
位置	全断面
断面	
BxD	H - 248 x 124 x 5 x 8
上端筋	
腹筋	継手 G.PL-9 HTB 2-M20
下端筋	
あばら筋	
備考	
符号	SB3
位置	全断面
断面	
BxD	H - 396 x 199 x 7 x 11
上端筋	
腹筋	継手 G.PL-9 HTB 3-M20
下端筋	
あばら筋	
備考	
符号	母屋
位置	全断面
断面	
BxD	C - 100 x 50 x 20 x 3.2
上端筋	
腹筋	継手 中ボルト 2-M12
下端筋	
あばら筋	
備考	

遊具改修図

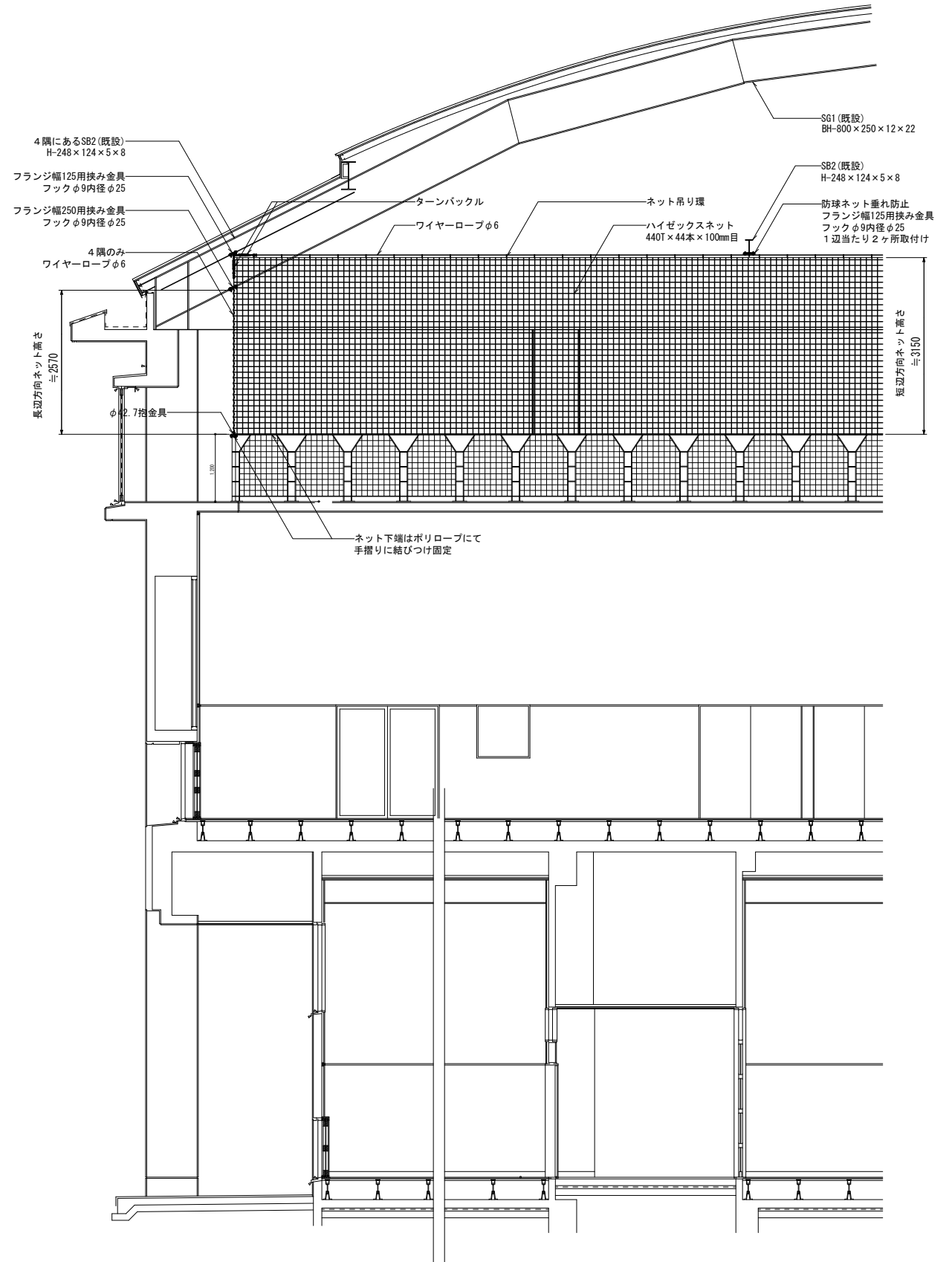


遊具改修キープラン図 1:100

番号	項目
①	バスケット板面取付用貫通ボルト取付 1面4箇所 (計16箇所)
②	フレーム接続部芯棒を、外れ止めの付いた物へ変更
③	全体のネットを、Uネットへ取替え



防球ネット図

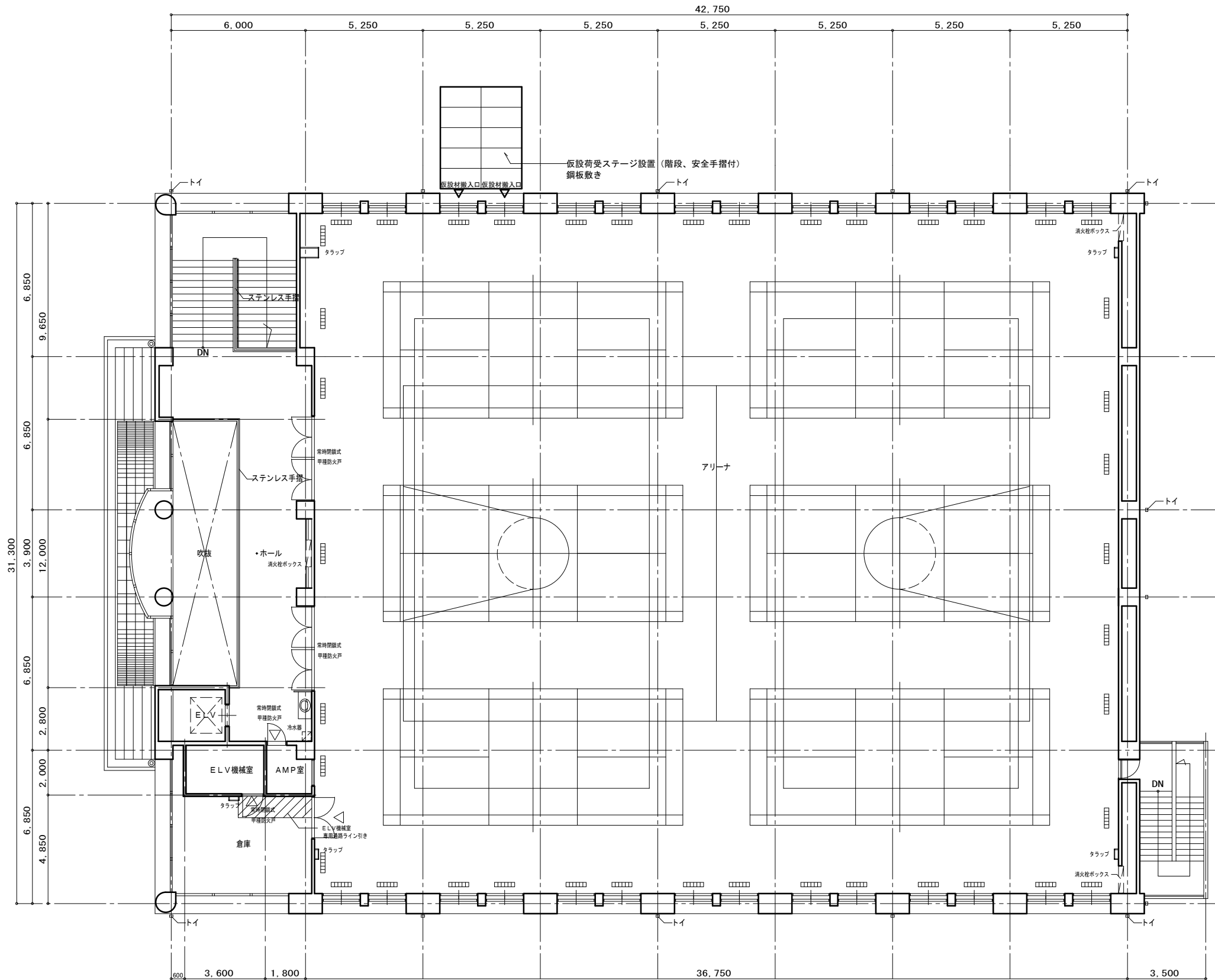


防球ネット図 1:50



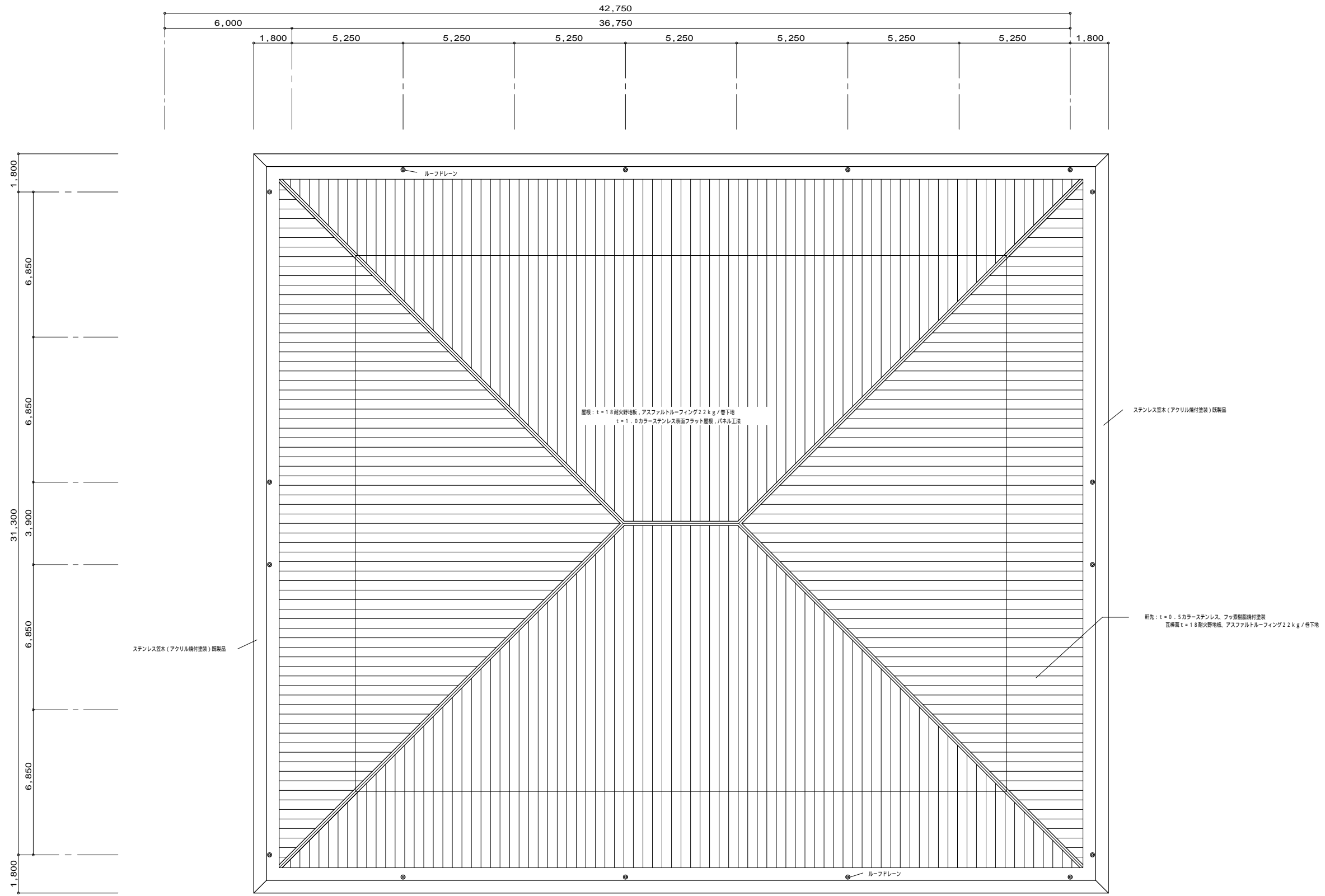
1階平面図 1:100

株式会社SDA建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 育 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 1階平面図 (現況図添付)	NO.
			1/100				図面名称		



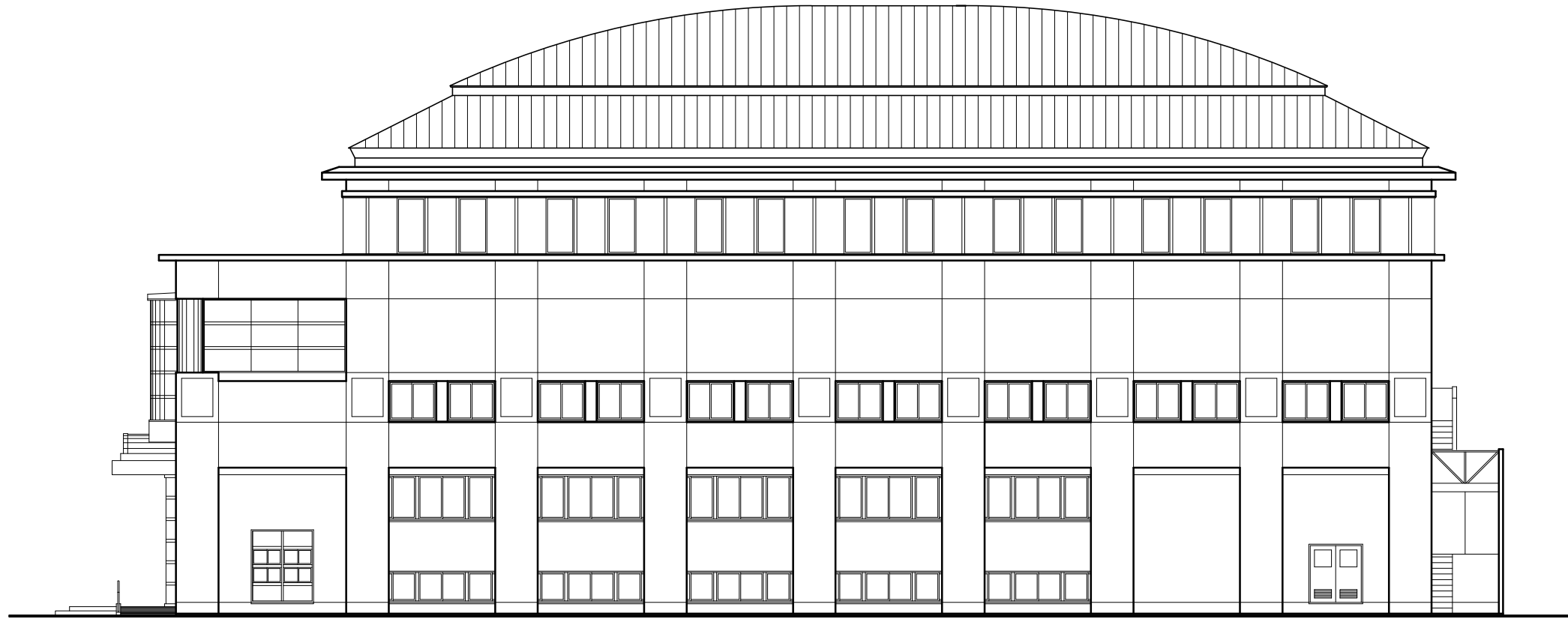
2階平面図 1:100

株式会社SDA建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 齊 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 2階平面図 (現況図添付) 仮設計画	NO. A-18
			1/100						

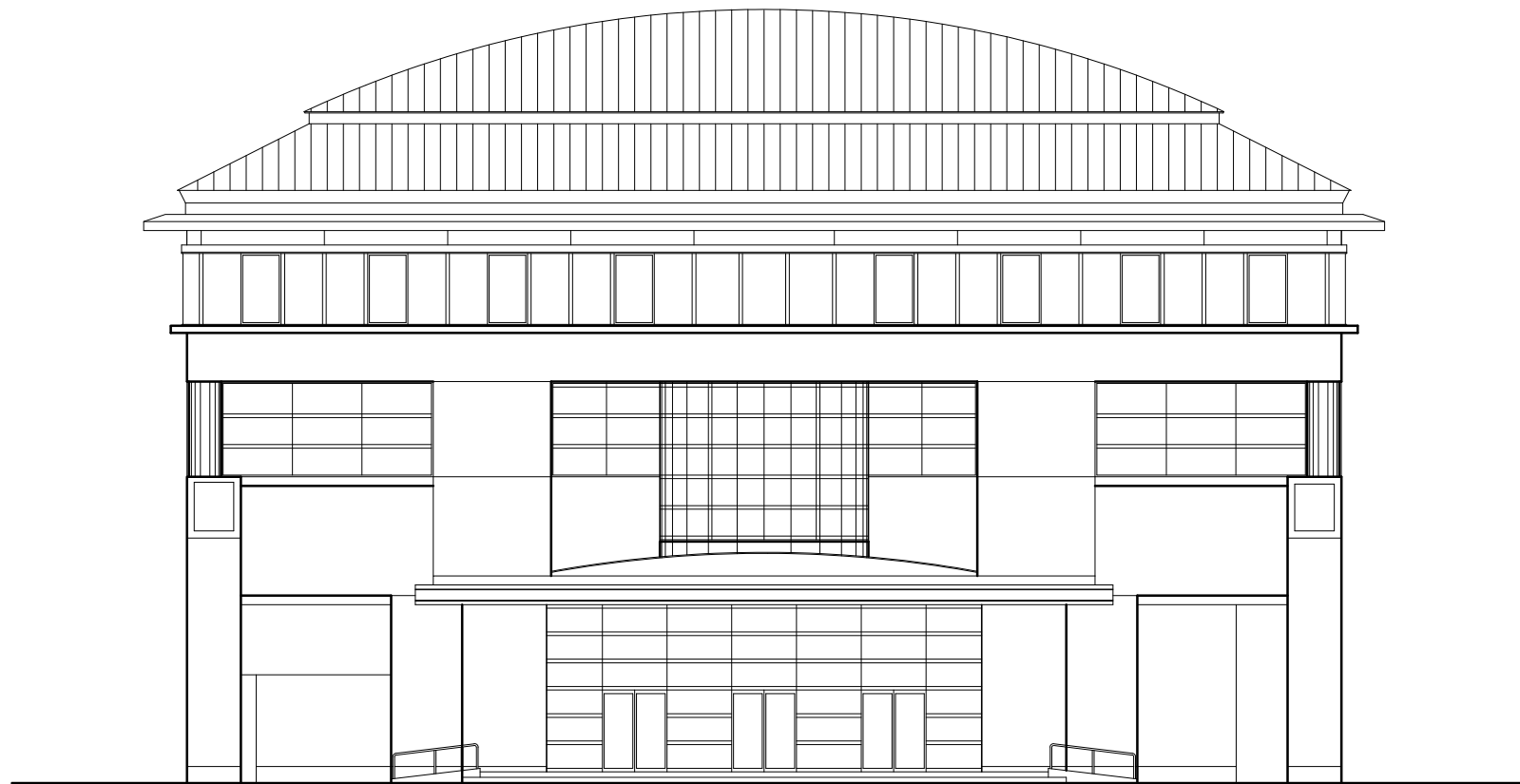


屋根伏図 1:100

株式会社 S D A 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 育 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 屋根伏図 (現況図添付)	NO.
			1/100						

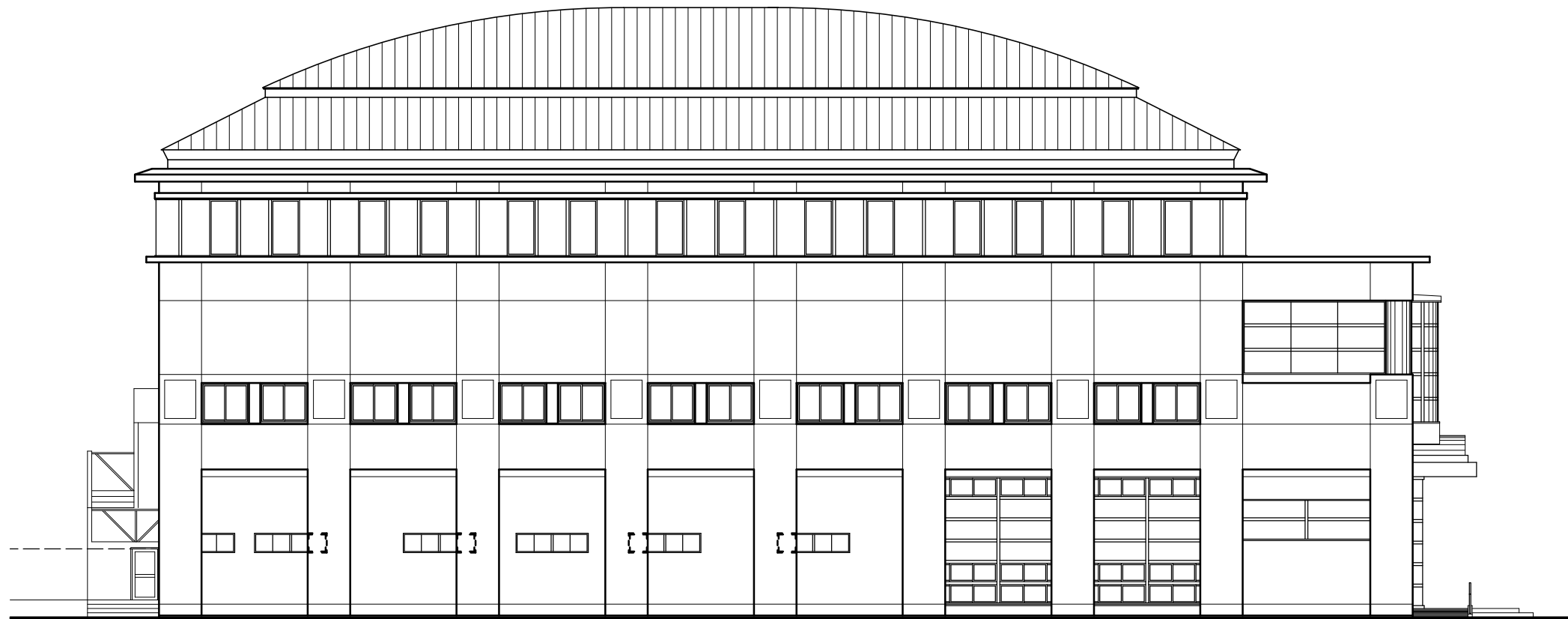


南面立面图 1:100

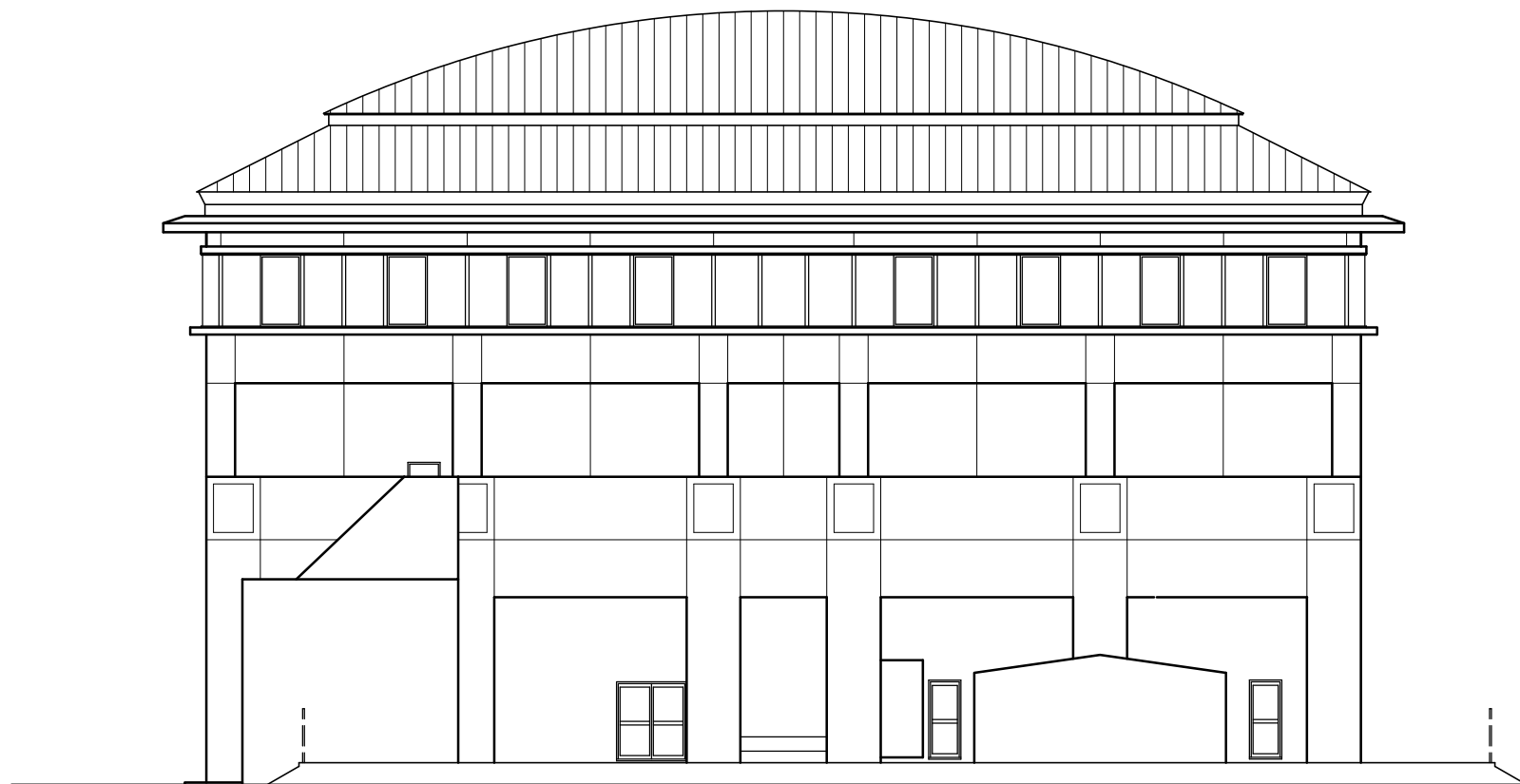


西面立面图 1:100

	株式会社 S D A 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 育 TEL (096) 381-2316	© 一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 南面、西面 立面图 (現況図添付)	NO. A-20
				1/100				図面名称		



北面立面図 1:100



東面立面図 1:100

	株式会社 S D A 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 賢 TEL (096) 381-2316	© 一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 北面、東面 立面図(現況図添付)	NO. A-21
				1/100 設計年月日				図面名称		

熊本県電気設備工事特記仕様書

I 工事概要

Table with 2 columns: 工事名称 (熊本市立大学アリーナ天井改修工事), 工事場所 (熊本市立大学アリーナ(熊本市東区月出3丁目1番100号) 地内)

※ 建築基準法に基づき定められた風速 (V0) (m/sec)
※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重 ()

※ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV

4 工事項目 (電気設備工事) ○印を付したものを

Table with 8 columns: 工事項目, 建物名, 1, 2, 3, 4, 屋外. Lists electrical equipment items like lighting, power, and communication.

5 工事項目 (機械設備工事) ○印を付したものを

Table with 8 columns: 工事項目, 建物種別及び屋外, 1, 2, 3, 4, 屋外. Lists mechanical equipment items like air conditioning, heating, and plumbing.

6 設備概要 (機械設備工事) (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない ○印を付けたものが該当項目となる)

Table with 2 columns: 設備種別, 概要. Details specifications for air conditioning, heating, and plumbing systems.

II 特記事項

- 1 本工事の契約は、図面及び仕様書に基づくものとし、新付の工区内取替は参考とする。
2 図面及び仕様書に記載されている製造元及び商品名は、製品の規格を示すもので参考とする。
3 契約締結後着工を速やかに提出すること。現場代理人及び主任(監理)技術者通知書には、受注者に所具し、かつ、必要資格を有することが確認できる書類を添付すること。
4 建設業退職金共済制度の「掛金収納書」及び建設労災補償共済制度の「加入証明書」(写しもしくは労働災害使用者賠償責任保険等加入を証する書類を契約後1月以内に提出すること。
5 特記仕様書に記載されている監理者の承認、監理員との協議等の要項については、工事管理要項に定めるところによる。
6 使用材料及び下請業者については、県産資材、県内企業及び誘致企業の採用に努めること。なお、県産資材、県内企業及び誘致企業とは、以下に該当するものをいう。
(1) 県産資材とは、県内で産出、生産又は製造されたものをいう。
(2) 県内企業とは、県内に主たる営業所を置く建設事業者をいう。
(3) 誘致企業とは、県内に誘致された企業をいう。
7 本工事は電子納品対象工事とする。
8 暴風等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
なお、遵守していないことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処する。
① 不当介入を受けた場合は、厳然としてこれを拒否し、不当介入があった時点で速やかに管轄警察署へ通報し、捜査上必要な協力を行うこと。
② 警察に通報等を行った内容について書面により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工事に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

III 工事仕様

- 1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁官制部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」
「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」、及び「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成25年版)」による。
なお、公共住宅建設にあつては、国土交通省住宅局住宅総合整備課監修「公共住宅建設工事共通仕様書(平成22年度版)」を併せて適用する。
2 項目は、番号の前に ○印 の付いたものを適用する。
3 特記事項は、○印 の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。
5 各条の特記事項欄にある() 書きは新築工事標準仕様書の章・節・項番号である。

章 項目 特記事項

Main specification table with 3 columns: 項目 (e.g., 適用基準等, 電子納品に関する事項), 特記事項 (detailed technical and administrative requirements), and 備考 (notes).

1

Table with 2 columns: 項目 (e.g., 12 技能士, 13 特別な材料の工法), 特記事項 (detailed requirements for personnel, materials, and construction methods).

2

Table with 2 columns: 項目 (e.g., 1 既存部分の養生, 2 監督員事務所), 特記事項 (requirements for site protection, supervision, and safety).

3

Table with 2 columns: 項目 (e.g., 1 埋戻し及び盛土, 2 建設発生土の処理), 特記事項 (requirements for soil backfill, waste disposal, and site restoration).

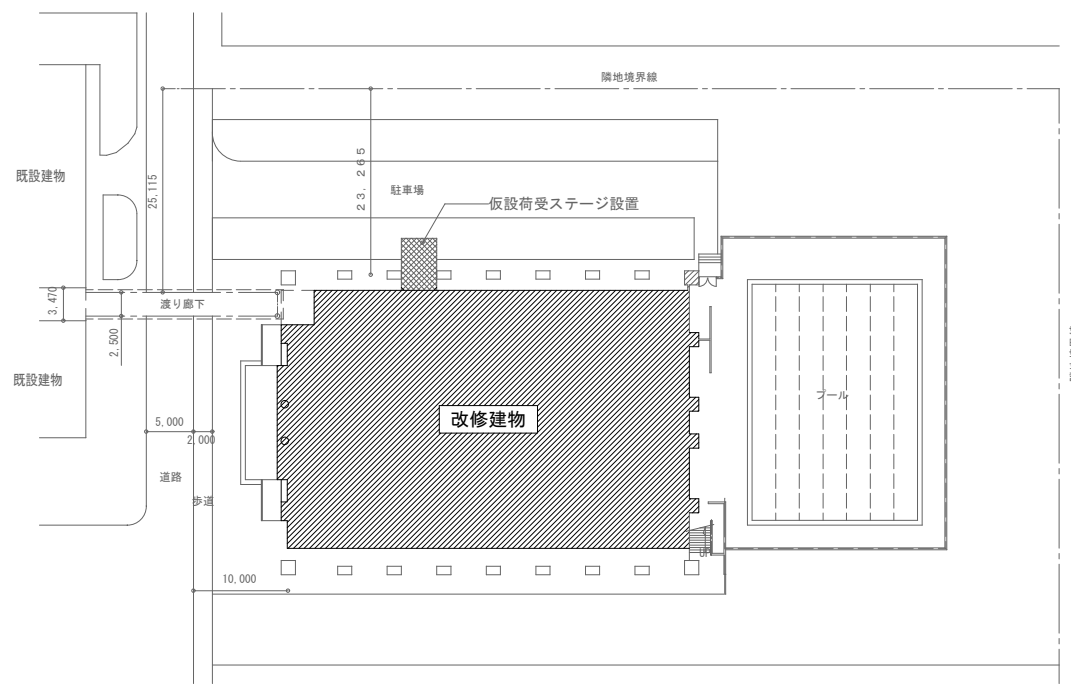
熊本県電気設備工事特記仕様書

Table with 4 columns: 建築士事務所名 (株式会社SDA建築設計事務所), 設計者氏名 (鎌田 和徳), 工事名称 (熊本県立大学アリーナ天井改修工事), 図面番号 (E-01).

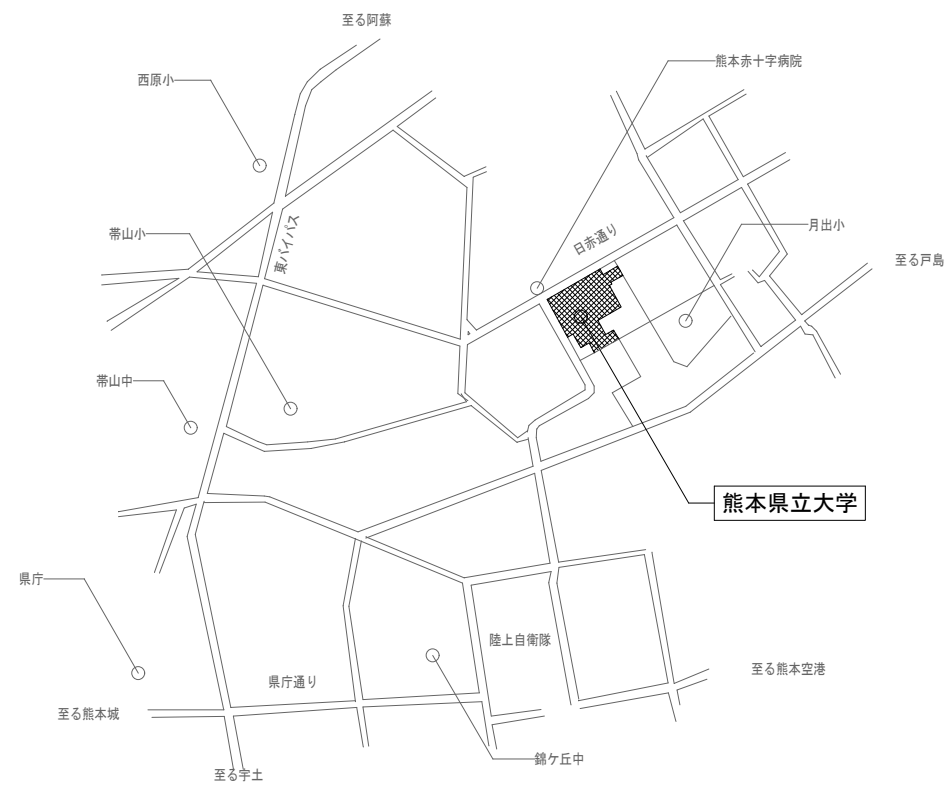
章	項目	特記事項																																																																																														
4 特 記 事 項	○ 1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする。																																																																																														
	○ 2 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による。																																																																																														
	○ 3 関連法規等	電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者（NTT等）の内規を厳守して完全に施工すること。																																																																																														
	○ 4 容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は原則として表示された数値以上とする (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の電力とする																																																																																														
	○ 5 耐震施工	(1) 機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修 2005年版）」による ① 設計用水平地震力 機器の重量〔kg〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、下表による。 ※地域係数 Z=1.0 としている 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度 (Ks) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">・特定の施設</th> <th colspan="2">・一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重要</td> <td>重要</td> <td>一般</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機器</td> <td>水槽</td> <td>機器</td> <td>水槽</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋 (2.0)</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階 (1.0)</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> ※上層階の定義は次による 注：() 書きの数値は防振機器とする <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2～6階建</td> <td>最上階</td> <td>10～12階建</td> <td>上層3階</td> </tr> <tr> <td>7～9階建</td> <td>上層2階</td> <td>13階建</td> <td>上層4階</td> </tr> </tbody> </table> 重要機器 ・配電盤 ・ 自家用発電装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電設備 ② 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする ③ 軽量機器等の耐震施工 重要機器、重要水槽を除く100kg以下の軽量一般機器、一般水槽の据付け、取付けについては、取付下地を入念に施工し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付け、据付けを行えばよいものとし、特に本基準で示した方法によらなくともよい (2) 建物への配線引込部の耐震処理は（・FEP方式 ・地中箱方式）とする ○ 6 配管工事 (1) 特に指示なき電線管はねじなし電線管を使用し、PF管は一重管とすること。 (2) 一区間の延長が30mを超える場合及び施工に必要な場合は、特に図示してなくとも中継ボックスを設けること (3) 予備配管には、1.6m/m以上のビニール被覆鉄線を入線すること ○ 7 構内及び構外舗装 構内では、路盤材料は再生クラッシュランを用い、アスファルト舗装は再生密粒質アスファルト混合物を利用すること 構外では、 ・ 表層路盤（ ・再生アスファルト ・新70%再30% ・再100% ） ・ 基層路盤（ ・再生アスファルト ・新70%再30% ・再100% ） ・ 上層路盤（ ・再生粒調砕石 ・再生クラッシュラン ） ・ 下層路盤（ ・再生粒調砕石 ・再生クラッシュラン ）を利用すること ○ 8 埋設テープ 全ての地中埋設配管には GL-300 の位置にビニル製埋設テープ（ダブル）を敷設し、高圧、低圧及び弱電等の種別及び先行先を表示すること ○ 9 屋外の支持金物等 (1) 屋外の支持金物、ボルト及びナット類は、溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZ35以上）又はステンレス製とする (2) ナットの固定には、ダブルナット又は抜け止め対策を行う ○ 10 配管塗装 (1) 指定箇所のみ露出配管、露出ボックス類の塗装は、エッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて、OP2回塗りとする (2) 指定場所の露出ボックスは指定色焼付塗装とする (3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること (4) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛めっき仕上げではJIS H 8641で規定するHDZ35以上とする (5) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと ○ 11 環境に配慮した電線採用 特記なき場合は電線及びケーブルについて、EM（エマナリアル）ケーブルを使用すること <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来記号</th> <th colspan="2">対応する記号及び規格名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IV</td> <td>IE</td> <td>600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線</td> </tr> <tr> <td>(IV)</td> <td>IC</td> <td>600V耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線</td> </tr> <tr> <td>VVR</td> <td>EE</td> <td>600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>VVF</td> <td>EEF</td> <td>600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（扁平）</td> </tr> <tr> <td>CV</td> <td>CE</td> <td>600V架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>CVV</td> <td>CEE</td> <td>制御用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>CCV</td> <td>CCE</td> <td>制御用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>CV-T</td> <td>CE-T</td> <td>トリアックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>TKEV</td> <td>TKEE</td> <td>耐燃性ポリエチレンシース通信用構内ケーブル</td> </tr> <tr> <td>TIVF</td> <td>TIEF</td> <td>耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用扁平通信電線</td> </tr> <tr> <td>EBT</td> <td>EM-EBT</td> <td>電子ボタン電話用ケーブル</td> </tr> <tr> <td>AE</td> <td>EM-AE</td> <td>警報用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>HP</td> <td>NH-HP</td> <td>小勢力回路用耐熱電線</td> </tr> <tr> <td>CPEV</td> <td>CPEE</td> <td>市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> <tr> <td>FCPEV</td> <td>FCPEE</td> <td>着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル</td> </tr> </tbody> </table> (1) 配分電盤及び操作盤（以下、盤という）は、監督員の指定する色（既製品を除く）にて焼付け塗装すること (2) 電灯分電盤については中枠及び扉戸式内扉を設けるものとし、盤内配線の主幹と分岐開閉器間は銅帯とすること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない (3) 盤には、二重天井の場合、監督員の指示する大きさの予備配管を2本以上天井内まで立上げ、エンドカバー又はブッシングを設けること (4) 銘板には製造者及び請負者の連絡先を入れること (5) 積算電力量計について、特記なき場合は検定品とすること (6) ドア裏面の充電部が露出する部分は原則感電防止の処置を施すこと (7) 屋外に設置するものについては、外面の厚さを60μm以上とする。 ○ 12 配分電盤及び操作盤 塗装及び予備配管は、「特記事項12の配分電盤及び操作盤」と同様とする ○ 13 端子盤及び保安器箱 位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、金属製とする ○ 14 ボックス等 位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、金属製とする ○ 15 配線器具等 (1) フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする (2) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付きとする (3) 特記なきスイッチはワイドスイッチとする	設置場所	耐震安全の分類				・特定の施設		・一般の施設			重要	重要	一般	一般		機器	水槽	機器	水槽	上層階、屋上及び塔屋 (2.0)	2.0	2.0	1.5	1.5	中間階	1.5	1.5	1.0	1.0	1階及び地下階 (1.0)	1.0	1.0	0.6	0.6	建物階数	上層階	建物階数	上層階	2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階	7～9階建	上層2階	13階建	上層4階	従来記号	対応する記号及び規格名称		IV	IE	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線	(IV)	IC	600V耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線	VVR	EE	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	VVF	EEF	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（扁平）	CV	CE	600V架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	CVV	CEE	制御用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	CCV	CCE	制御用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	CV-T	CE-T	トリアックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	TKEV	TKEE	耐燃性ポリエチレンシース通信用構内ケーブル	TIVF	TIEF	耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用扁平通信電線	EBT	EM-EBT	電子ボタン電話用ケーブル	AE	EM-AE	警報用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	HP	NH-HP	小勢力回路用耐熱電線	CPEV	CPEE	市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	FCPEV	FCPEE	着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル
	設置場所	耐震安全の分類																																																																																														
		・特定の施設		・一般の施設																																																																																												
		重要	重要	一般	一般																																																																																											
		機器	水槽	機器	水槽																																																																																											
	上層階、屋上及び塔屋 (2.0)	2.0	2.0	1.5	1.5																																																																																											
	中間階	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																											
	1階及び地下階 (1.0)	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																											
	建物階数	上層階	建物階数	上層階																																																																																												
	2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階																																																																																												
	7～9階建	上層2階	13階建	上層4階																																																																																												
従来記号	対応する記号及び規格名称																																																																																															
IV	IE	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線																																																																																														
(IV)	IC	600V耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線																																																																																														
VVR	EE	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
VVF	EEF	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（扁平）																																																																																														
CV	CE	600V架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
CVV	CEE	制御用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
CCV	CCE	制御用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
CV-T	CE-T	トリアックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
TKEV	TKEE	耐燃性ポリエチレンシース通信用構内ケーブル																																																																																														
TIVF	TIEF	耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用扁平通信電線																																																																																														
EBT	EM-EBT	電子ボタン電話用ケーブル																																																																																														
AE	EM-AE	警報用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
HP	NH-HP	小勢力回路用耐熱電線																																																																																														
CPEV	CPEE	市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
FCPEV	FCPEE	着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																																																																																														
16 幹線ケーブル	主要な幹線ケーブルは、プルボックス、ハンドホール等内で、円回し等により余長を確保すること なお、この際はケーブルを緊縛してはならない																																																																																															
○ 17 表示等	(1) プレートの表示 器具を突装しないものについては、下記の要領で用途を明示すること （電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ベル、インターホン、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等） (2) 幹線の表示 強電、弱電の幹線引出口、引込口、プルボックス内及びハンドホール内の必要な箇所には、先行、回路種別及びケーブルサイズ等を明示した表示札、プレート等を設けること (3) プルボックス及びハンドホールの表示 プルボックスの表面に用途表示を行うこと ハンドホールの蓋には熊本県章を表示し、用途別に「高圧」「電気」「弱電」「電話」等と表示すること。																																																																																															
○ 18 接地工事	(1) 接地埋設標は黄銅板製の刻印式とし、A種接地工事（柱上高圧機器を除く）、受電設備等のB種接地工事、その他図面に特記する接地工事に設けること (2) 接地極の材料は、下表による。（枚数及び本数は最低の値とする。） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">接地極の種類</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="2">接地極の材料</th> </tr> <tr> <th>銅板</th> <th>接地棒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同</td> <td>E_{A,B,D}</td> <td>1枚</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>A種接地工事</td> <td>E_A</td> <td></td> <td>6本</td> </tr> <tr> <td>柱上高圧機器</td> <td>E_{sp}</td> <td></td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>B種接地工事</td> <td>E_B</td> <td></td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>C種接地工事</td> <td>E_C</td> <td></td> <td>6本</td> </tr> <tr> <td>D種接地工事</td> <td>E_D</td> <td></td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>構内交換機用</td> <td>E_t</td> <td>1枚</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>通信情報</td> <td>E_{tp}</td> <td>1枚</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">雷保護</td> <td>直流電源装置（陽極）</td> <td>E_{At}</td> <td>6本</td> </tr> <tr> <td>保安用（10Ω以下）</td> <td>E_{It}</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>保安用（100Ω以下）</td> <td>E_{It}</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>拡声用増幅器（100Ω以下）</td> <td>E_{It}</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">他</td> <td>避雷設備</td> <td>E_L</td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>低圧避雷器（10Ω以下）</td> <td>E_L</td> <td>6本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定補助用</td> <td>E_O</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 接地極銅板：1.5t×90° 接地棒：14φ×1,500L（一般用） ：10φ×1,000L（外打） ：10φ×1,000L（測定補助用） 2ヶ所	接地極の種類	記号	接地極の材料		銅板	接地棒	共同	E _{A,B,D}	1枚	2本	A種接地工事	E _A		6本	柱上高圧機器	E _{sp}		2本	B種接地工事	E _B		2本	C種接地工事	E _C		6本	D種接地工事	E _D		1本	構内交換機用	E _t	1枚	2本	通信情報	E _{tp}	1枚	2本	雷保護	直流電源装置（陽極）	E _{At}	6本	保安用（10Ω以下）	E _{It}	1本	保安用（100Ω以下）	E _{It}	1本	拡声用増幅器（100Ω以下）	E _{It}	1本	他	避雷設備	E _L	1枚	低圧避雷器（10Ω以下）	E _L	6本		測定補助用	E _O																																		
接地極の種類	記号			接地極の材料																																																																																												
		銅板	接地棒																																																																																													
共同	E _{A,B,D}	1枚	2本																																																																																													
A種接地工事	E _A		6本																																																																																													
柱上高圧機器	E _{sp}		2本																																																																																													
B種接地工事	E _B		2本																																																																																													
C種接地工事	E _C		6本																																																																																													
D種接地工事	E _D		1本																																																																																													
構内交換機用	E _t	1枚	2本																																																																																													
通信情報	E _{tp}	1枚	2本																																																																																													
雷保護	直流電源装置（陽極）	E _{At}	6本																																																																																													
	保安用（10Ω以下）	E _{It}	1本																																																																																													
	保安用（100Ω以下）	E _{It}	1本																																																																																													
	拡声用増幅器（100Ω以下）	E _{It}	1本																																																																																													
他	避雷設備	E _L	1枚																																																																																													
	低圧避雷器（10Ω以下）	E _L	6本																																																																																													
	測定補助用	E _O																																																																																														
○ 19 照明器具の接地	コード吊以外の蛍光灯器具、水気のある場所の白熱灯器具及び放電灯器具類（HID灯等）は接地すること 接地線は原則として線径のIE 1.6mm 以上とし金属配管の場合は配管を利用してよい																																																																																															
20 蛍光灯安定器	図面に特記なき場合は下表による <table border="1"> <thead> <tr> <th>蛍光灯の種類</th> <th>回路方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Hf形</td> <td>16/23ワット</td> <td>PH</td> </tr> <tr> <td>32/45ワット</td> <td>PJ(PK)</td> </tr> <tr> <td>86ワット</td> <td>PJ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンパクト形</td> <td>P32, P45</td> <td>PN</td> </tr> <tr> <td>15形以下</td> <td>GL</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直管のランプ</td> <td>（防雨形器具、防湿形器具、電池内蔵型非常用照明器具及び誘導灯）</td> <td>GL</td> </tr> <tr> <td>（上記以外のもの）</td> <td>GH</td> </tr> </tbody> </table>	蛍光灯の種類	回路方式	Hf形	16/23ワット	PH	32/45ワット	PJ(PK)	86ワット	PJ	コンパクト形	P32, P45	PN	15形以下	GL	直管のランプ	（防雨形器具、防湿形器具、電池内蔵型非常用照明器具及び誘導灯）	GL	（上記以外のもの）	GH																																																																												
蛍光灯の種類	回路方式																																																																																															
Hf形	16/23ワット	PH																																																																																														
	32/45ワット	PJ(PK)																																																																																														
	86ワット	PJ																																																																																														
コンパクト形	P32, P45	PN																																																																																														
	15形以下	GL																																																																																														
直管のランプ	（防雨形器具、防湿形器具、電池内蔵型非常用照明器具及び誘導灯）	GL																																																																																														
	（上記以外のもの）	GH																																																																																														
○ 21 LED制御装置	図面に特記なき場合は、一般形(LN)、初期照度補正形(LJ)、連続調光形(LX)とすること																																																																																															
22 外灯設備	(1) 溶融亜鉛めっき鋼管ポールは、エッチングプライマー処理の後、指定色2回塗りとする (2) ポール内等にカットアウトスイッチ又は配線用遮断器（トリップ機構無）を設けること																																																																																															
○ 23 照度測定	測定箇所 ・ 学校環境衛生基準による。 ・ 監督員の指示による。																																																																																															
24 キュービクル型受変電設備	(1) 変圧器の2次側には最大需要電流計（電子式）を設けること (2) 変圧器の2次側と配線用遮断器の1次側間は銅帯とすること (3) 幹線と配線用遮断器を接続するための端子台を設けること (4) 充電部の保護用として、取っ手を付けたアクリルパネルを設けること (5) 変圧器は原則として、熊本県グリーン購入推進方針適合品とする (6) 高圧充電部の近くには高圧危険表示をすること (7) 耐震施工（重要機器）を行うこと (8) 変圧器の耐震区分は（・標準・強化）とする																																																																																															
25 構内情報通信網設備	ケーブルは監督員の指定する色を用い、露出部分（端末接続部分を除く）を保護すること また、導通、対の配置、減衰量、長さ（UTPは90m以下）、近端漏話減衰量、ACRの検査試験を行うこと																																																																																															
26 インターホン設備	卓上型機器への接続は、原則としてコネクターによる。 また、ケーブルはインターホン用絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブルを用いること																																																																																															
27 音響設備	音響装置は動作試験の他に次の測定を行うこと ・インピーダンス ・ 残響時間 ・ 伝送周波数特性 ・ 音圧分布																																																																																															
28 テレビ共同受信設備	(1) アンテナは図面に特記なき場合は、UHFアンテナで全帯域用（素子数 20以上）とする (2) 増幅器は図面に特記なき場合は、UHF帯とする (3) 建築躯体工事完了後、地上波放送局分の電界強度測定を行い、監督員に報告すること																																																																																															
29 電気時計設備	子時計の配線接続には2極コネクターを用いること																																																																																															
30 消火ポンプ起動	特記なき場合は、発信機連動方式とする。 その場合、発信機表面に「消火栓連動」等の文字を併記すること																																																																																															
31 壁貫通	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋検査を行う。 ・ レンゲン撮影 ・ 金属探知機																																																																																															
○ 32 あと施工アンカー	・ あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ・ 施工者資格（ ・ 第1種あと施工アンカー施工士 ・ 第2種あと施工アンカー施工士 ） ※試験 ※自主検査（全数） ・ 加力検査（ ・ 非破壊試験 所 所 ・ 破壊試験 所 所 ）																																																																																															
○ 33 改修工事	改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認・測定等を着工前に、監督員に報告すること ・ 既設機器の動作確認 ・ 照度測定 範囲（ ※居室 ※教室 ・ 指定する場所（ ） ） ・ 絶縁測定（ ・ 幹線 ・ 分岐回路 ・ 弱電ケーブル ） ・ 接地抵抗測定 ・ 導通試験																																																																																															

章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																					
4 特 記 事 項	機器の取付高さ 機器取付高さは下表を原則とする（ただし、総括監督員、主任監督員の指示により変更することができる）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上 ～ 中心</td> <td>約 1,800 ～ 約 2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,800 ～ 約 2,200</td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,500 ～ 約 2,100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブラケット</td> <td>洗面器</td> <td>鏡上</td> <td>約 100</td> </tr> <tr> <td>階段踊場</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 2,000 ～ 約 2,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スイッチ</td> <td>屋外</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,500</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>～ 約 1,100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンセント</td> <td>住宅</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,100</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 400</td> </tr> <tr> <td>台上</td> <td>台上 ～ 中心</td> <td>約 200</td> </tr> <tr> <td>土間</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 800</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">手元開閉器</td> <td>床上</td> <td>～ 中心</td> <td>約 400</td> </tr> <tr> <td>床上</td> <td>～ 中心</td> <td>約 1,500</td> </tr> <tr> <td>壁掛け型制御盤</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,500</td> </tr> <tr> <td>消火栓表示灯</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 2,000 ～ 2,500</td> </tr> <tr> <td>端子盤</td> <td>床上 ～ 下端</td> <td>約 700</td> </tr> <tr> <td>保安器ボックス</td> <td>床上 ～ 下端</td> <td>約 2,000</td> </tr> <tr> <td>電話位置ボックス壁、テレビ端子</td> <td>コンセントに準じる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受信機、副受信機（壁掛型）</td> <td>床上 ～ 操作部</td> <td>約 800 ～ 1,400</td> </tr> <tr> <td>分布型感知器</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,700</td> </tr> <tr> <td>発信機</td> <td>床上 ～ 操作部</td> <td>約 800 ～ 1,400</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,900</td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 2,300</td> </tr> <tr> <td>感知器試験機</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,500</td> </tr> <tr> <td>呼出ブザー</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,500</td> </tr> <tr> <td>トレ呼出ボタン</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 400、800</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">押ボタン</td> <td>屋外</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,500</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,300</td> </tr> <tr> <td>インターホン（壁掛）</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,100</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 2,300</td> </tr> <tr> <td>警報盤</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,100</td> </tr> <tr> <td>壁掛音響調節器</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 1,300</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 2,300</td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床上 ～ 中心</td> <td>約 2,300</td> </tr> </tbody> </table>	名称	測点	取付高 (mm)	取引用計器	地上 ～ 中心	約 1,800 ～ 約 2,000	引込開閉器	床上 ～ 中心	約 1,800 ～ 約 2,200	分電盤	床上 ～ 中心	約 1,500 ～ 約 2,100	ブラケット	洗面器	鏡上	約 100	階段踊場	床上 ～ 中心	約 2,000 ～ 約 2,500	スイッチ	屋外	床上 ～ 中心	約 1,500	一般	床上 ～ 中心	～ 約 1,100	コンセント	住宅	床上 ～ 中心	約 1,100	一般	床上 ～ 中心	約 400	台上	台上 ～ 中心	約 200	土間	床上 ～ 中心	約 800	手元開閉器	床上	～ 中心	約 400	床上	～ 中心	約 1,500	壁掛け型制御盤	床上 ～ 中心	約 1,500	消火栓表示灯	床上 ～ 中心	約 2,000 ～ 2,500	端子盤	床上 ～ 下端	約 700	保安器ボックス	床上 ～ 下端	約 2,000	電話位置ボックス壁、テレビ端子	コンセントに準じる		受信機、副受信機（壁掛型）	床上 ～ 操作部	約 800 ～ 1,400	分布型感知器	床上 ～ 中心	約 1,700	発信機	床上 ～ 操作部	約 800 ～ 1,400	表示灯	床上 ～ 中心	約 1,900	ベル	床上 ～ 中心	約 2,300	感知器試験機	床上 ～ 中心	約 1,500	呼出ブザー	床上 ～ 中心	約 1,500	トレ呼出ボタン	床上 ～ 中心	約 400、800	押ボタン	屋外	床上 ～ 中心	約 1,500	屋内	床上 ～ 中心	約 1,300	インターホン（壁掛）	床上 ～ 中心	約 1,100	子時計	床上 ～ 中心	約 2,300	警報盤	床上 ～ 中心	約 1,100	壁掛音響調節器	床上 ～ 中心	約 1,300	スピーカー	床上 ～ 中心	約 2,300	表示器	床上 ～ 中心	約 2,300																																																																																																																																																							
	名称	測点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																				
	取引用計器	地上 ～ 中心	約 1,800 ～ 約 2,000																																																																																																																																																																																																																																																																				
	引込開閉器	床上 ～ 中心	約 1,800 ～ 約 2,200																																																																																																																																																																																																																																																																				
	分電盤	床上 ～ 中心	約 1,500 ～ 約 2,100																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ブラケット	洗面器	鏡上	約 100																																																																																																																																																																																																																																																																			
		階段踊場	床上 ～ 中心	約 2,000 ～ 約 2,500																																																																																																																																																																																																																																																																			
	スイッチ	屋外	床上 ～ 中心	約 1,500																																																																																																																																																																																																																																																																			
		一般	床上 ～ 中心	～ 約 1,100																																																																																																																																																																																																																																																																			
	コンセント	住宅	床上 ～ 中心	約 1,100																																																																																																																																																																																																																																																																			
		一般	床上 ～ 中心	約 400																																																																																																																																																																																																																																																																			
		台上	台上 ～ 中心	約 200																																																																																																																																																																																																																																																																			
		土間	床上 ～ 中心	約 800																																																																																																																																																																																																																																																																			
	手元開閉器	床上	～ 中心	約 400																																																																																																																																																																																																																																																																			
		床上	～ 中心	約 1,500																																																																																																																																																																																																																																																																			
壁掛け型制御盤	床上 ～ 中心	約 1,500																																																																																																																																																																																																																																																																					
消火栓表示灯	床上 ～ 中心	約 2,000 ～ 2,500																																																																																																																																																																																																																																																																					
端子盤	床上 ～ 下端	約 700																																																																																																																																																																																																																																																																					
保安器ボックス	床上 ～ 下端	約 2,000																																																																																																																																																																																																																																																																					
電話位置ボックス壁、テレビ端子	コンセントに準じる																																																																																																																																																																																																																																																																						
受信機、副受信機（壁掛型）	床上 ～ 操作部	約 800 ～ 1,400																																																																																																																																																																																																																																																																					
分布型感知器	床上 ～ 中心	約 1,700																																																																																																																																																																																																																																																																					
発信機	床上 ～ 操作部	約 800 ～ 1,400																																																																																																																																																																																																																																																																					
表示灯	床上 ～ 中心	約 1,900																																																																																																																																																																																																																																																																					
ベル	床上 ～ 中心	約 2,300																																																																																																																																																																																																																																																																					
感知器試験機	床上 ～ 中心	約 1,500																																																																																																																																																																																																																																																																					
呼出ブザー	床上 ～ 中心	約 1,500																																																																																																																																																																																																																																																																					
トレ呼出ボタン	床上 ～ 中心	約 400、800																																																																																																																																																																																																																																																																					
押ボタン	屋外	床上 ～ 中心	約 1,500																																																																																																																																																																																																																																																																				
	屋内	床上 ～ 中心	約 1,300																																																																																																																																																																																																																																																																				
インターホン（壁掛）	床上 ～ 中心	約 1,100																																																																																																																																																																																																																																																																					
子時計	床上 ～ 中心	約 2,300																																																																																																																																																																																																																																																																					
警報盤	床上 ～ 中心	約 1,100																																																																																																																																																																																																																																																																					
壁掛音響調節器	床上 ～ 中心	約 1,300																																																																																																																																																																																																																																																																					
スピーカー	床上 ～ 中心	約 2,300																																																																																																																																																																																																																																																																					
表示器	床上 ～ 中心	約 2,300																																																																																																																																																																																																																																																																					
工事区分 別表-1の記入上の注意 該当箇所は ●（黒塗り）とし該当しない工事内容及び区分欄は斜線消去すること 別表-1 他工事との工事区分表	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事内容</th> <th>建築工事</th> <th>電気設備工事</th> <th>機械設備工事</th> <th>別途工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機器の基礎</td> <td rowspan="3">電気関係</td> <td>配電盤・制御盤の基礎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">機械関係</td> <td>自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビアンテナ基礎（ " ）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>避雷針の基礎（ " ）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">開口部</td> <td rowspan="6">架台、アンカーボルト</td> <td>架台、アンカーボルト</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特記した基礎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>梁、床、壁、貫通スリーブ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補強を要しないもの</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>梁、床、壁、貫通部型枠</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補強を要するもの</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">開口部</td> <td>軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補強を要しないもの（フットボックスは除く）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>埋込形分電盤、端子盤等の型枠</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>補強を要するもの</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>上記開口部の補強</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記開口部の露出し</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フリーアクセスフロア用配線器具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>点検口</td> <td>床、壁、天井</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部取付ガラリ</td> <td>ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>湯沸室のフード</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気扇の取付枠</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td>排水トラップ共</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防油堤</td> <td>オイルサービスタンクの防油堤</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>タンク基礎</td> <td></td> <td>空開用</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>床下水槽のマンホールふた</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外排水管</td> <td>雨水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚水、雑排水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨水立管（たてどい）</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トイレ手すり</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧かぶり</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>はめ込形洗面器用カウンター（前板共）</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガスボンベ転倒防止用の鎖</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電気・配管・配線</td> <td rowspan="10">自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ</td> <td>防火扉レリーズ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電極棒</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配線ビッド及びふた</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器などへの接続（1次側）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管（接地共）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤への電源供給配管配線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属操作スイッチとの渡り配管（接地共）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス漏れ検知器</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気錠</td> <td>電気錠及び通電金具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TENキー及び制御盤</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エレベーター出入口三方枠（金属製）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エレベーター出入口三方枠（石製）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">システム天井</td> <td>ボード・Tバー</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照明ライン設備プレート</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>空調ライン設備プレート</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事内容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	別途工事	機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	○			屋外	○			屋上	○			機械関係	自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）	○			テレビアンテナ基礎（ " ）	○			避雷針の基礎（ " ）	○			開口部	架台、アンカーボルト	架台、アンカーボルト	○			特記した基礎	○			梁、床、壁、貫通スリーブ	○	○	○	補強を要しないもの	○	○	○	梁、床、壁、貫通部型枠	○	○	○	補強を要するもの	○	○	○	開口部	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	○	○	○	補強を要しないもの（フットボックスは除く）	○	○	○	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	○	○	○	補強を要するもの	○	○	○	上記開口部の補強	○			上記開口部の露出し	○	○	○	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）	○	○	○	フリーアクセスフロア用配線器具	○	○	○	点検口	床、壁、天井	○			外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	○			湯沸室のフード		○			換気扇の取付枠		○			流し台	排水トラップ共	○			防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	○	○			タンク基礎		空開用	○	床下水槽のマンホールふた		○			屋外排水管	雨水	○				汚水、雑排水	○			雨水立管（たてどい）		○			トイレ手すり		○			化粧かぶり		○			はめ込形洗面器用カウンター（前板共）		○			ガスボンベ転倒防止用の鎖		○			電気・配管・配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	防火扉レリーズ	○			電極棒	○			配線ビッド及びふた	○			機器などへの接続（1次側）	○			機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管（接地共）	○			機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○			自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	○			自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線	○			天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	○			付属操作スイッチとの渡り配管（接地共）	○			個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）	○			煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線	○			小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	○			ガス漏れ検知器		○			電気錠	電気錠及び通電金具	○	○		TENキー及び制御盤	○	○		エレベーター出入口三方枠（金属製）	○	○		エレベーター出入口三方枠（石製）	○	○		シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン		○			システム天井	ボード・Tバー	○			照明ライン設備プレート	○				空調ライン設備プレート		○	
工事内容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	別途工事																																																																																																																																																																																																																																																																		
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		屋外	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		屋上	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
	機械関係	自家発電機の基礎（アンカーボルトを除く）	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		テレビアンテナ基礎（ " ）	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		避雷針の基礎（ " ）	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
開口部	架台、アンカーボルト	架台、アンカーボルト	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		特記した基礎	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		梁、床、壁、貫通スリーブ	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
		補強を要しないもの	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
		梁、床、壁、貫通部型枠	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
		補強を要するもの	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
	開口部	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
		補強を要しないもの（フットボックスは除く）	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
		埋込形分電盤、端子盤等の型枠	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
		補強を要するもの	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																		
上記開口部の補強	○																																																																																																																																																																																																																																																																						
上記開口部の露出し	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
フリーアクセスフロア用配線器具	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
点検口	床、壁、天井	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
湯沸室のフード		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
換気扇の取付枠		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
流し台	排水トラップ共	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
	タンク基礎		空開用	○																																																																																																																																																																																																																																																																			
床下水槽のマンホールふた		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
屋外排水管	雨水	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
	汚水、雑排水	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
雨水立管（たてどい）		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
トイレ手すり		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
化粧かぶり		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
はめ込形洗面器用カウンター（前板共）		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
ガスボンベ転倒防止用の鎖		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気・配管・配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	防火扉レリーズ	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		電極棒	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		配線ビッド及びふた	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		機器などへの接続（1次側）	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管（接地共）	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
		付属操作スイッチとの渡り配管（接地共）	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）	○																																																																																																																																																																																																																																																																						
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線	○																																																																																																																																																																																																																																																																						
小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	○																																																																																																																																																																																																																																																																						
ガス漏れ検知器		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気錠	電気錠及び通電金具	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
	TENキー及び制御盤	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
	エレベーター出入口三方枠（金属製）	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																				
エレベーター出入口三方枠（石製）	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン		○																																																																																																																																																																																																																																																																					
システム天井	ボード・Tバー	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
	照明ライン設備プレート	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
	空調ライン設備プレート		○																																																																																																																																																																																																																																																																				

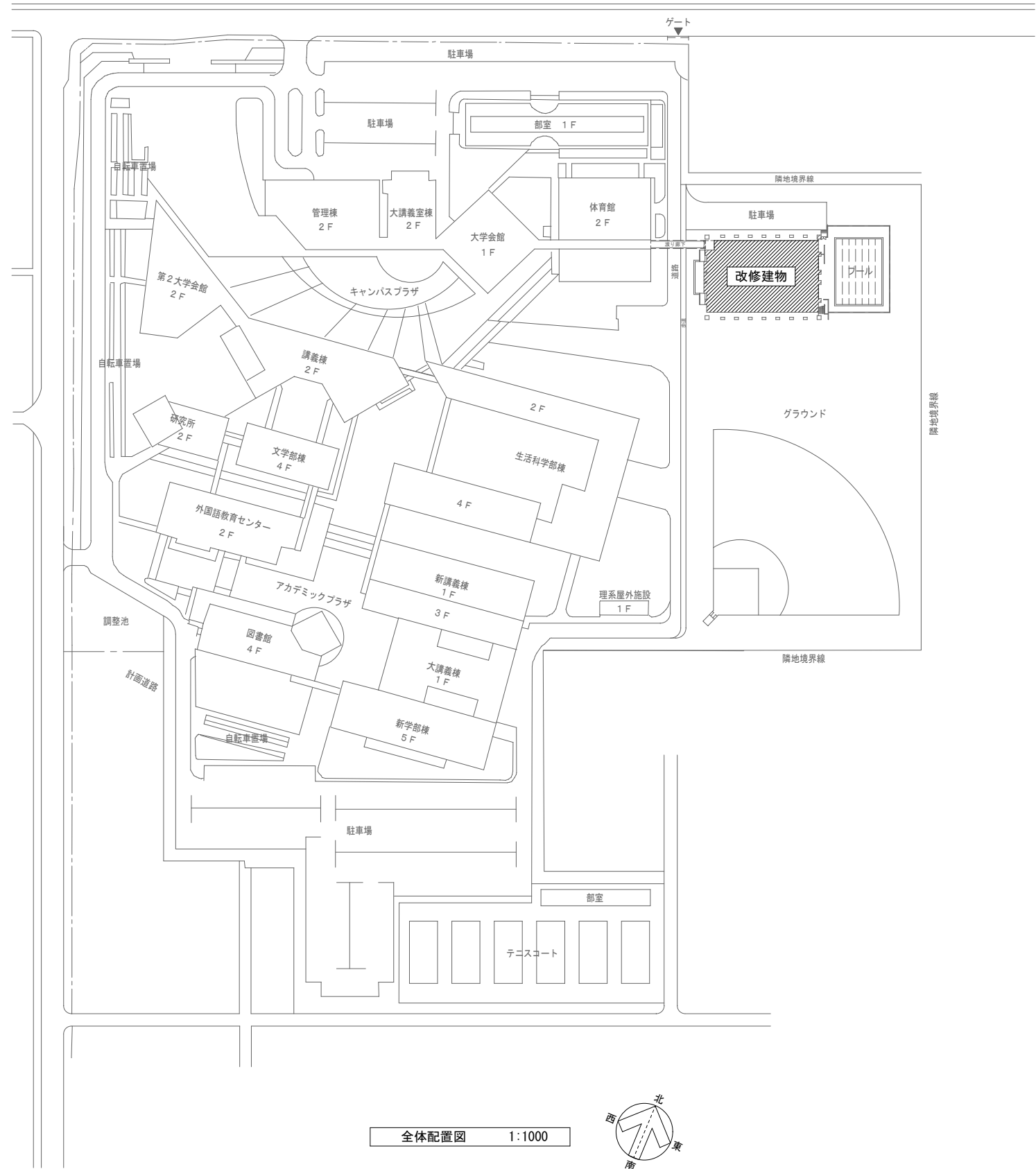
熊 本 県 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書	建築士事務所名	一級 建築士事務所 熊本県 知事登録 358 号	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事	
	設計者氏名	一級 建築士 大臣 登録第 150668 号	図面名称	電気設備工事特記仕様書（その2）	図面番号 E-02
		鎌田 和徳 印			



部分配置図 1:400



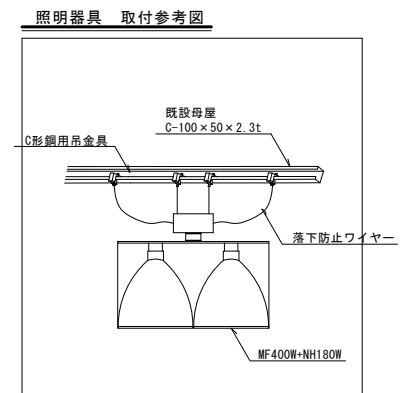
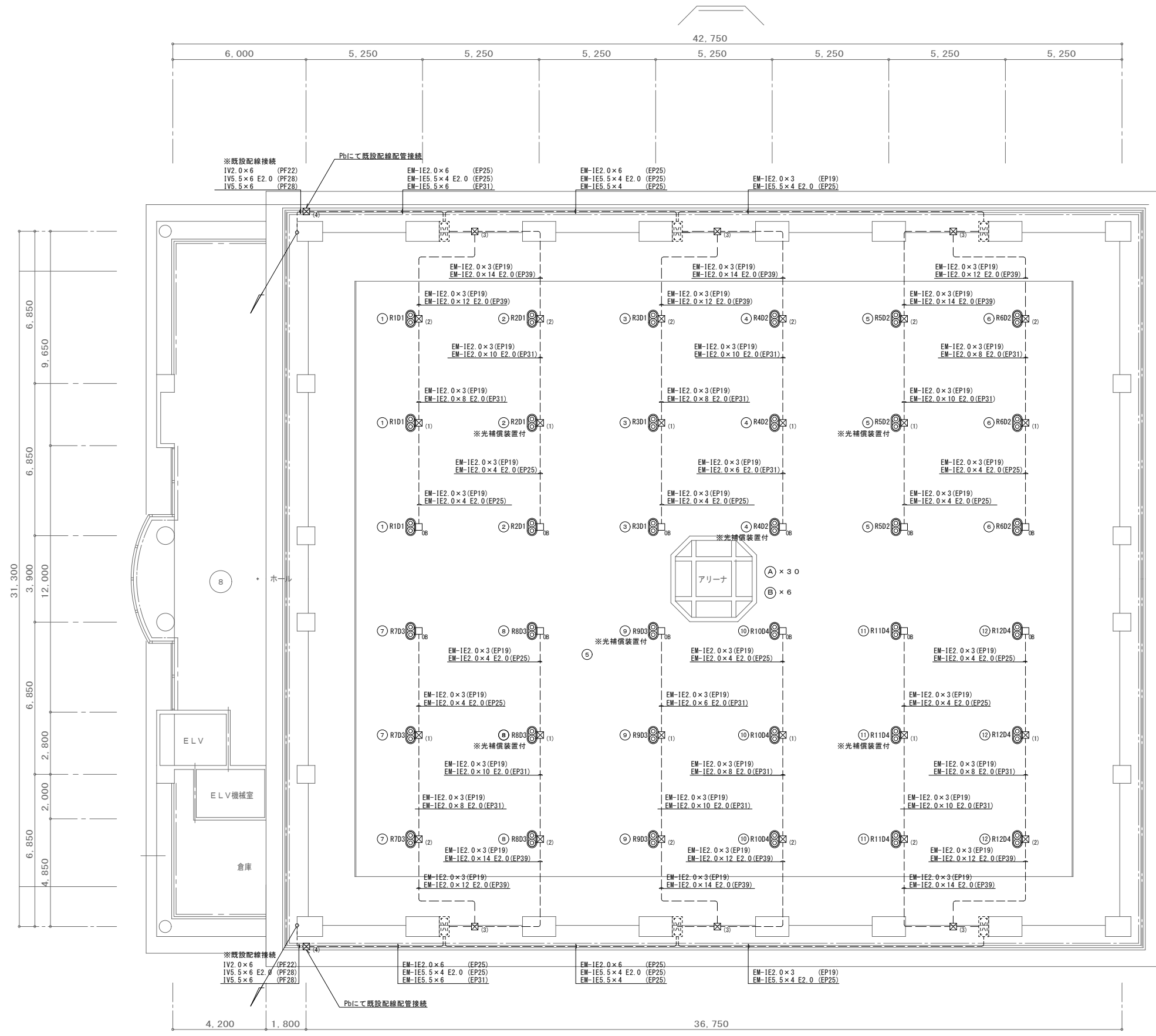
案内図



全体配置図 1:1000



株式会社 SDA 建築設計事務所 熊本中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 齊 TEL (096) 381-2316	© 一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 案内図・配置図	NO.
			1/1000						

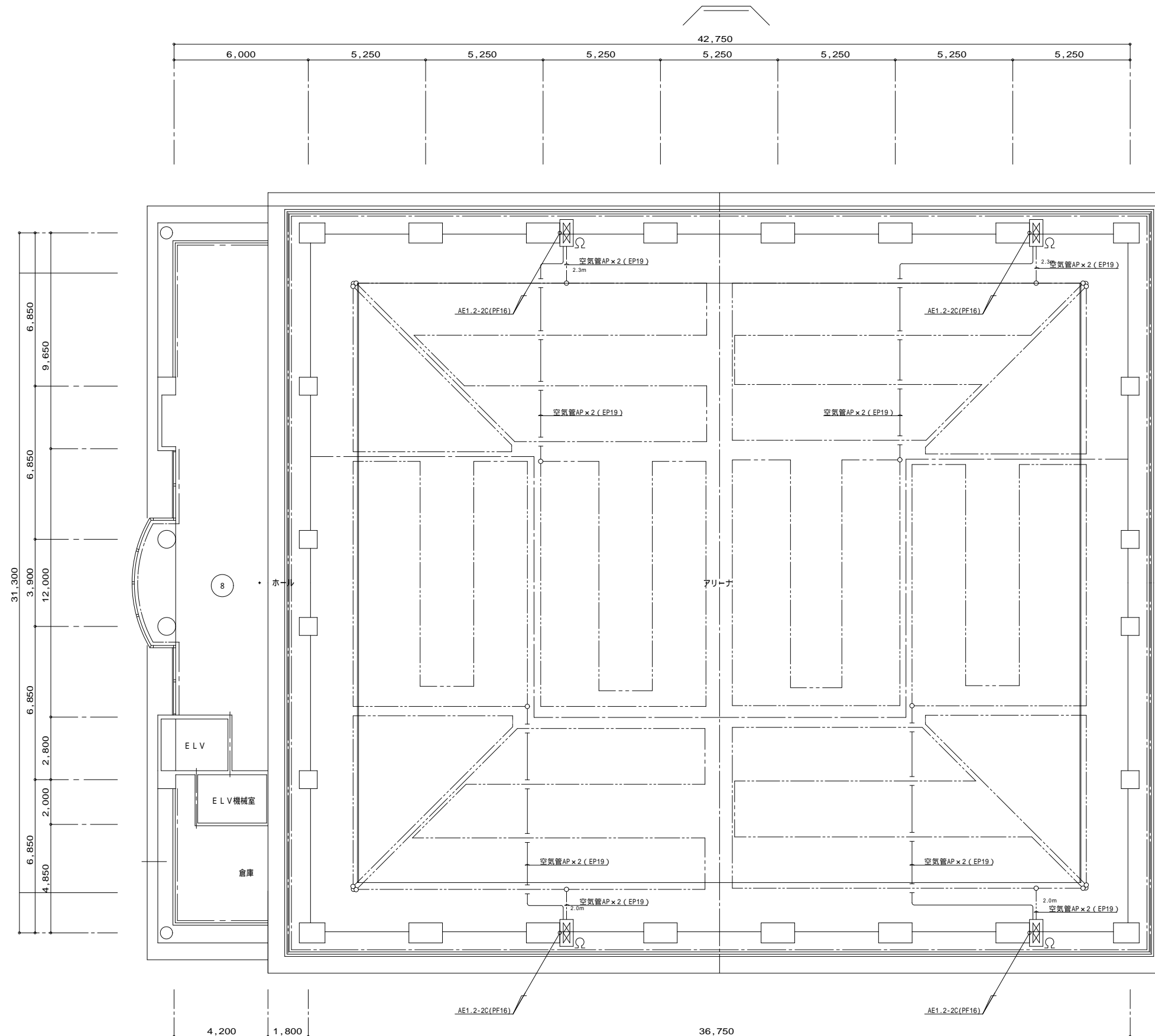


- ※器具ガードを取付けること
 照明器具は既設品撤去し清掃後再取付とする
- Ⓐ MF400W+NH180W 混光タイプ (全体ガード付)
 - Ⓑ MF400W+NH180W 混光タイプ (光補償装置付) (全体ガード付)

※ ⑫ R1204
 ⑫は分電盤回路番号、Rはリモコン番号、Dは昇降装置番号を示す。
 ⑫R1204なら分電盤回路 No.12、リモコン番号 No.12
 昇降装置回路No.4 を示す

凡 例		
□ ₀₈	08 119 ^φ ×54	(塗装付)
⊗ ₍₁₎	Pb 200 ^φ ×100	(塗装付)
⊗ ₍₂₎	Pb 300 ^φ ×100	(塗装付)
⊗ ₍₃₎	Pb 300 ^φ ×200	(塗装付)
⊗ ₍₄₎	Pb 400 ^φ ×200	(塗装付)

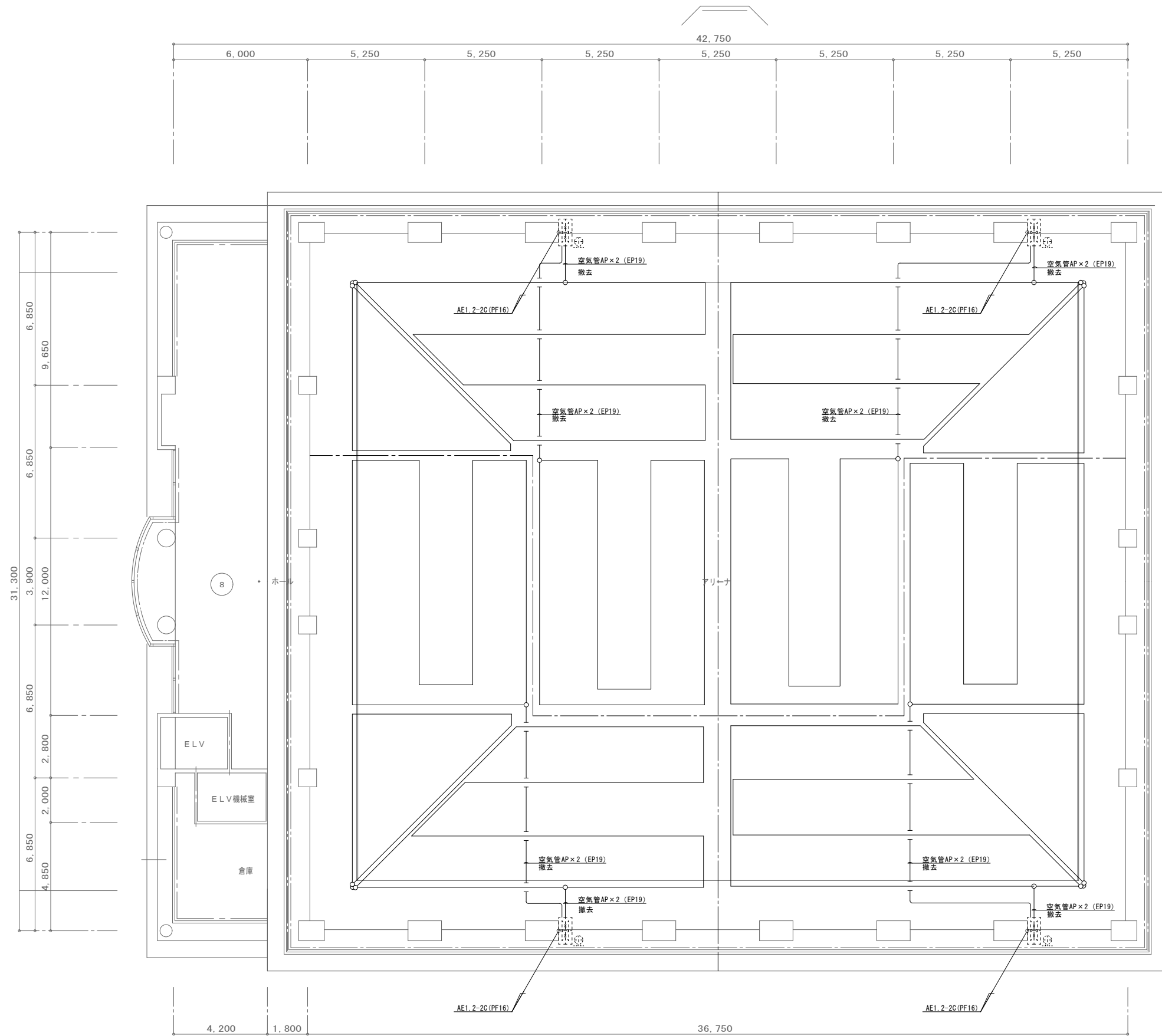
2階天井伏図 改修後 1:100



2階天井伏図 改修後 1:100

凡 例	
○	空気管AP (メッセージャーワイヤー)

株式会社 SDA 建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 育 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺 1/100	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事 2階自動火災報知設備 (改修後)	NO. E-05
			設計年月日				図面名称		



2階天井伏図 改修前 1:100

	株式会社SDA建築設計事務所 熊本市中央区神水二丁目2番2号 アリビル2F	一級建築士事務所 熊本県知事登録 358号 代表取締役 吉田 齊 TEL (096) 381-2316	一級建築士 大臣登録第150668号 管理建築士 鎌田 和徳	縮尺 1/100	所長	主任	設計	工事名称	熊本県立大学アリーナ天井改修工事	NO. E-07
				設計年月日				図面名称	2階自動火災報知設備 撤去図	

熊本県立大学アリーナ天井改修工事

設計書

工事場所 熊本県立大学(熊本市東区月出三丁目1番100号)

発注者 公立大学法人熊本県立大学

熊本県立大学アリーナ天井改修工事

内 訳 書

工 事 内 訳 書

熊本県立大学アリーナ天井改修工事

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
A	建築工事					
1	直接仮設工事	1	式			
2	内装工事	1	式			
3	金属工事	1	式			
4	遊具工事	1	式			
5	撤去工事	1	式			
計						

工 事 内 訳 書

熊本県立大学アリーナ天井改修工事

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
3 金属工事						
(スピーカーカバー工事)						
天井用八角形アングル金物(上下)		2.0	台			
側面金網枠工場製作費(材料共)		8.0	台			
防錆塗装費		1.0	式			
現場運搬費		1.0	式			
現場荷揚費		1.0	式			
天枠現場固定費(材工共)		1.0	式			
側面板取付費		8.0	台			
下枠取付費		1.0	式			
現場実測		1.0	式			
施工図作成費		1.0	式			
機械器具損料		1.0	式			
消耗品費		1.0	式			
諸経費		1.0	式			
小計						

工 事 内 訳 書

熊本県立大学アリーナ天井改修工事

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
(バスケット台改修③)	バスケット台改修、折たたみ式バスケット台緩み止めナット設置 改修 4基					
改修手間(特殊作業員)		1	人			
改修手間(普通作業員)		1	人			
簡易足場		1	式			
副資材		1	式			
諸経費		1	式			
(中央セバレートネット一時撤去・復旧)	1張り					
既設撤去・解体手間(特殊作業員)		3	人			
既設撤去・解体手間(普通作業員)	9	2	人			
工事手間(特殊作業員)		4	式			
工事手間(普通作業員)	9	4	式			
足場台		1	式			
副資材		1	式			
諸経費		1	式			
中途計						

工 事 内 訳 書

熊本県立大学アリーナ天井改修工事

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
(ギャラリー防球ネット)	ギャラリー防球ネット 既設鉄骨利用ハイゼックスネット張り					
ネット取付金具		4	組			
ワイヤー吊り金具		8	コ			
ネット100mm目		361	m2			
ワイヤー φ6mmメッキ		139	m			
タンバックル メッキ		12	コ			
ワイヤークリップ 6mm		48	コ			
設置手間(特殊作業員)		5	人			
設置手間(普通作業員)		5	人			
足場代		1	式			
副資材		1	式			
諸経費		1	式			
小計						

工 事 内 訳 書

県立大学アリ - ナ天井改修工事実施設計業務委託

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
B	電気設備工事					
	直接仮設工事					
1	アリ - ナ照明配管・配線設備	1	式			
2	アリ - ナ照明撤去工事	1	式			
3	自動火災報知設備	1	式			
4	自動火災報知設備撤去工事	1	式			
5	産業廃棄物処分費	1	式			
	計					

工 事 内 訳 書

県立大学アリ - ナ天井改修工事実施設計業務委託

名 称		規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
1	アリ - ナ照明配管・配線設備						
	電線管 (露出)	EP 19m/m	313	m			
	電線管 (露出)	EP 25m/m	279	m			
	電線管 (露出)	EP 31m/m	101	m			
	電線管 (露出)	EP 39m/m	159	m			
	電 線 (管内)	EM-IE2.0×1	4,684	m			
	電 線 (管内)	EM-IE5.5sq×1	882	m			
	アウトレットボックス	大深 プランクカバー付	12	個			
	プルボックス (1)	200×200×100 塗装付	1.92	m ²			
	プルボックス (2)	300×300×100 塗装付	3.60	m ²			
	プルボックス (3)	300×300×200 塗装付	2.52	m ²			
	プルボックス (4)	400×400×200 塗装付	1.28	m ²			
	既設照明器具 再取付	MF-400W+NH-180W 混光	30	台			
	既設照明器具 再取付	MF-400W+NH-180W 混光 アンナイト付	6	台			
	落下防止ワイヤ-		72	本			
	照明器具ガード		36	個			

工 事 内 訳 書

県立大学アリ - ナ天井改修工事実施設計業務委託

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
配管塗装		1	式			
点灯及び昇降装置試験費		1	式			
小 計						

工 事 内 訳 書

県立大学アリ - ナ天井改修工事実施設計業務委託

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
2 アリ - ナ照明撤去工事						
電線管 (インハイ)	EP 19m/m	350	m			
電線管 (インハイ)	EP 25m/m	57	m			
電線管 (インハイ)	EP 31m/m	244	m			
電線管 (インハイ)	EP 39m/m	57	m			
電線管 (インハイ)	PF 22m/m	120	m			
電線管 (インハイ)	PF 28m/m	174	m			
電 線 (管内)	IV2.0×1	4,337	m			
電 線 (PF管内)	IV2.0×1	660	m			
電 線 (PF管内)	IV5.5sq×1	764	m			
アウトレットボックス	大深 カハ'-付	4	個			
ブルボックス	200×200×100 サビドメ	16	個			
ブルボックス	300×300×100 サビドメ	16	個			
ブルボックス	400×400×200 サビドメ	6	個			
ブルボックス	300×300×200 サビドメ	6	個			
既設照明器具 再使用 撤去	MF-400W+NH-180W 混光	30	台			
既設照明器具 再使用 撤去	MF-400W+NH-180W 混光 アンナイト付	6	台			
小 計						

工 事 内 訳 書

県立大学アリ - ナ天井改修工事実施設計業務委託

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
3 自動火災報知設備						
電線管 (露出)	EP 19m/m	102	m			
空気管	AP メッセンジャーワイヤ-付	800	m			
立会い検査費		1	式			
配管塗装		1	式			
小 計						

工 事 内 訳 書

県立大学アリ - ナ天井改修工事実施設計業務委託

名 称	規格・形状・寸法	数量	単位	単価	金額	備 考
5 産業廃棄物処分費						
鉄クズ 処分費	処分費	1,801.2	kg			
廃フラ 処分費	処分費	108.47	kg			
銅線スクラップ	処分費	139.92	kg			
ナゲット処理		189.89	kg			
小 計						